

湘南東部地域の現状(まとめと論点)

基本的事項	<p>&lt;入院患者推計&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口は年々減少、65歳以上の高齢者は年々増加、2015年比で2025年は1.1倍、2040年は1.31倍。75歳以上は2015年比で2025年は1.46倍、2040年は1.54倍。</li> <li>・患者数は、2025年には2015年比1.29倍、2040年は1.35倍に増加。65歳以上、75歳以上の患者は増加、65歳未満の患者は減少。</li> <li>・疾患別：循環器、呼吸器の増加率が高い。</li> </ul>	<p>&lt;要介護者推計&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳以上の要支援・要介護者数は、2025年には、2015年比1.36倍・2017年比1.27倍の36,470人と推計</li> </ul>
	<p>&lt;病床の状況(病床機能報告)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病床機能報告においては、平成28年度と比較して、回復期と報告された病床数が微増しているが、病床機能別の傾向は大きな変動はない。</li> <li>・病床の病床利用率は4機能とも平均的には高い。急性期は、病棟によりややばらつきがある。</li> </ul>	

入院基本料	<p>&lt;一般病床、7:1・10:1&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己完結率は79.4%、横須賀・三浦に10.8%流出。流出超過。(H26から同傾向)</li> <li>・7:1、10:1のレセプト出現比は全国平均より低い。</li> <li>・緩和ケア、特殊疾患、救命救急入院のレセプト出現比が高い。</li> </ul>	<p>&lt;地域包括ケア病棟&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己完結率は90.7%。</li> <li>・レセプト出現比は全国平均より低い。</li> </ul>	<p>&lt;回復期リハ病棟&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己完結率は71.1%。横須賀・三浦に11.7%流出。(H26から同傾向)</li> </ul>	<p>&lt;療養病床&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己完結率は78.9%、流入は拮抗。</li> <li>・療養病床基本料のレセプト出現比は全国平均より低い。</li> </ul>
-------	--	---	---	---

救急医療	<p>&lt;救急医療&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・85.4%の患者が二次救急を圏域内で完結。流出超過。(横須賀・三浦に9%流出)</li> <li>・2次救急、3次救急体制のレセプト出現比が高い。医療連携体制のレセプト出現比が全国平均より低い。(H26と同傾向)</li> </ul>
------	---

疾患別の地域特性	<p>&lt;がん&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2025年入院患者数：全体的に増加する。最も実数が多いのは肺がん</li> <li>・がん入院の自圏域での完結率は最も高い大腸がんで78.3%、最も低い乳がん54.7%。流出超過。</li> <li>・化学療法、放射線治療(入院・外来)の自圏域での完結率は約60%</li> <li>・いずれの項目でも、横須賀・三浦地域への流出が多くなっている。</li> <li>・手術に関するレセプト出現比は全国平均を下回っている指標がある。</li> </ul>	<p>&lt;急性心筋梗塞&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院の自圏域での完結率は71.4%。流出超過。</li> <li>・レセプト出現比の各指標は全体的に全国平均を下回っている</li> </ul>	<p>&lt;脳卒中&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院の自圏域での完結率は71~77%。流出は拮抗している。</li> <li>・レセプト出現比の各指標は全体的に全国平均を下回っている。</li> </ul>
----------	--	--	--

在宅医療等	<p>&lt;在宅医療等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体として、訪問診療などの在宅医療に係る医療行為に係るレセプト出現比は高い。</li> <li>・退院支援部門を設ける病院は多い(病床機能報告)が、ケアマネジャーとの連携などの退院支援に係る指標の出現比は高くない。(H26から同水準)</li> </ul>
-------	---

【課題・論点】

- 地域における役割分担の進め方、医療機能の過不足について
  - ・病床機能報告においては、急性期が多く、回復期で少なく報告されているが出ているが、急性期・回復期の間での連携の状況と役割分担をどう考えるか。
  - ・立地的な点も影響し、流出超過が多く、特に、がんなどの各疾病で、横須賀・三浦地域への流出が多い、脳卒中や急性心筋梗塞等のレセプト出現比が低いという地域特性は引き続き見られるが、地域における支障は生じているか。
- 医療機関と、在宅医療や介護資源との連携



# 湘南東部地域の現状

1

## 人口・患者数等推移 医療施設等の状況

2

## 県内の人口と入院患者の推移

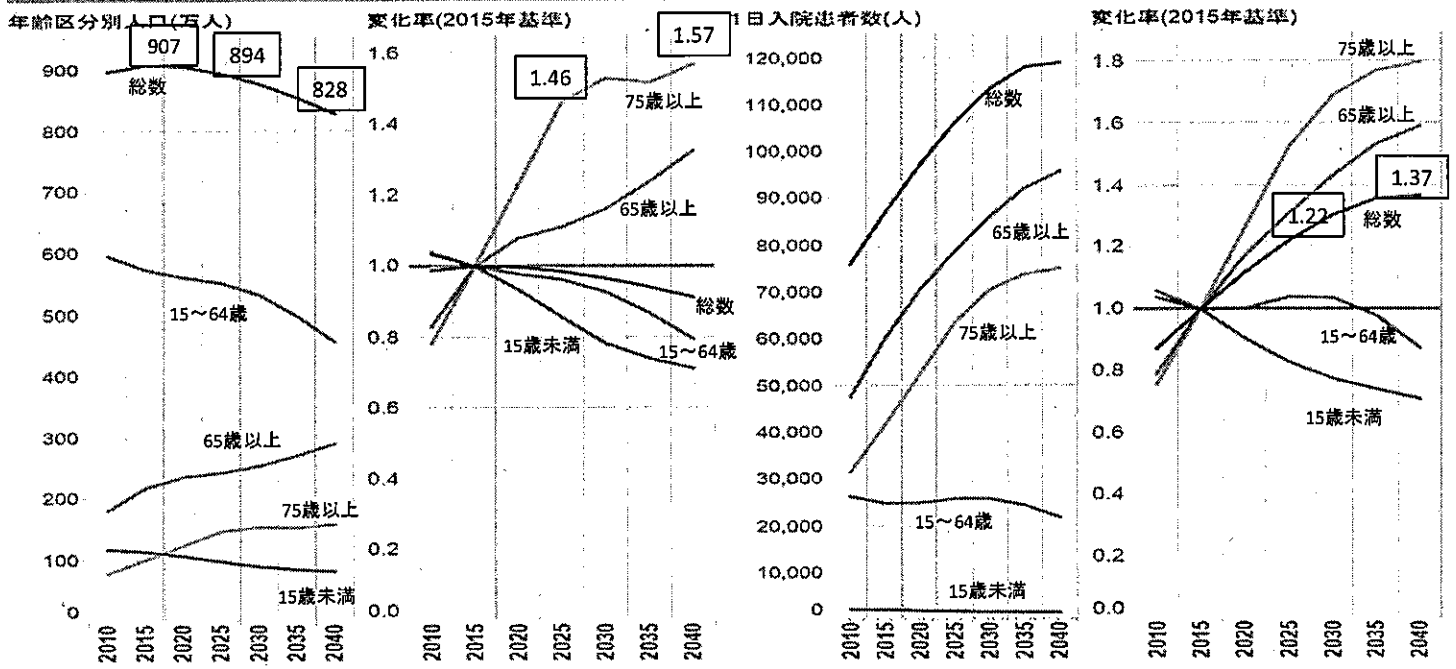
都道府県 14神奈川県

2次医療圏 すべて

市区町村 すべて

人口と人口推移

傷病 ×ALL総数



H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(円筒)

※人口:性年齢階級別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)  
 ※推計患者数:性年齢階級別人口×性年齢階級別受療率(H26年患者調査)

- ・人口は年々減少するが、65歳以上の高齢者は、年々増え続ける。特に75歳以上の高齢者の増加率が高く、2025年には、2015年比約1.46倍、2040年には約1.57倍に増加する。
- ・患者数は、2025年には、2015年比1.22倍に増加し、2040年にも1.37倍に増加する。65歳未満の患者は2030年を機に減少に転じる。

## 湘南東部地域における人口と入院患者の推移

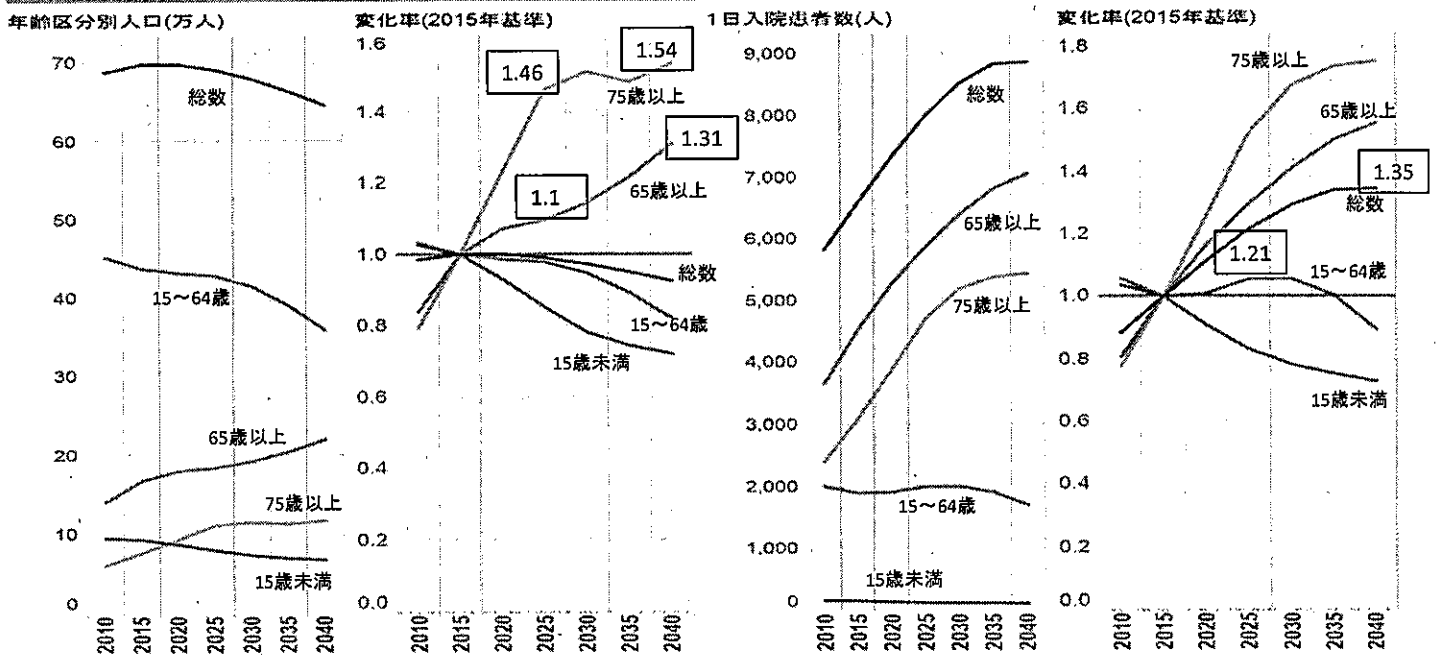
都道府県 14神奈川県

2次医療圏 1407湘南東部

市区町村 すべて

人口と人口推移

傷病 ×ALL総数

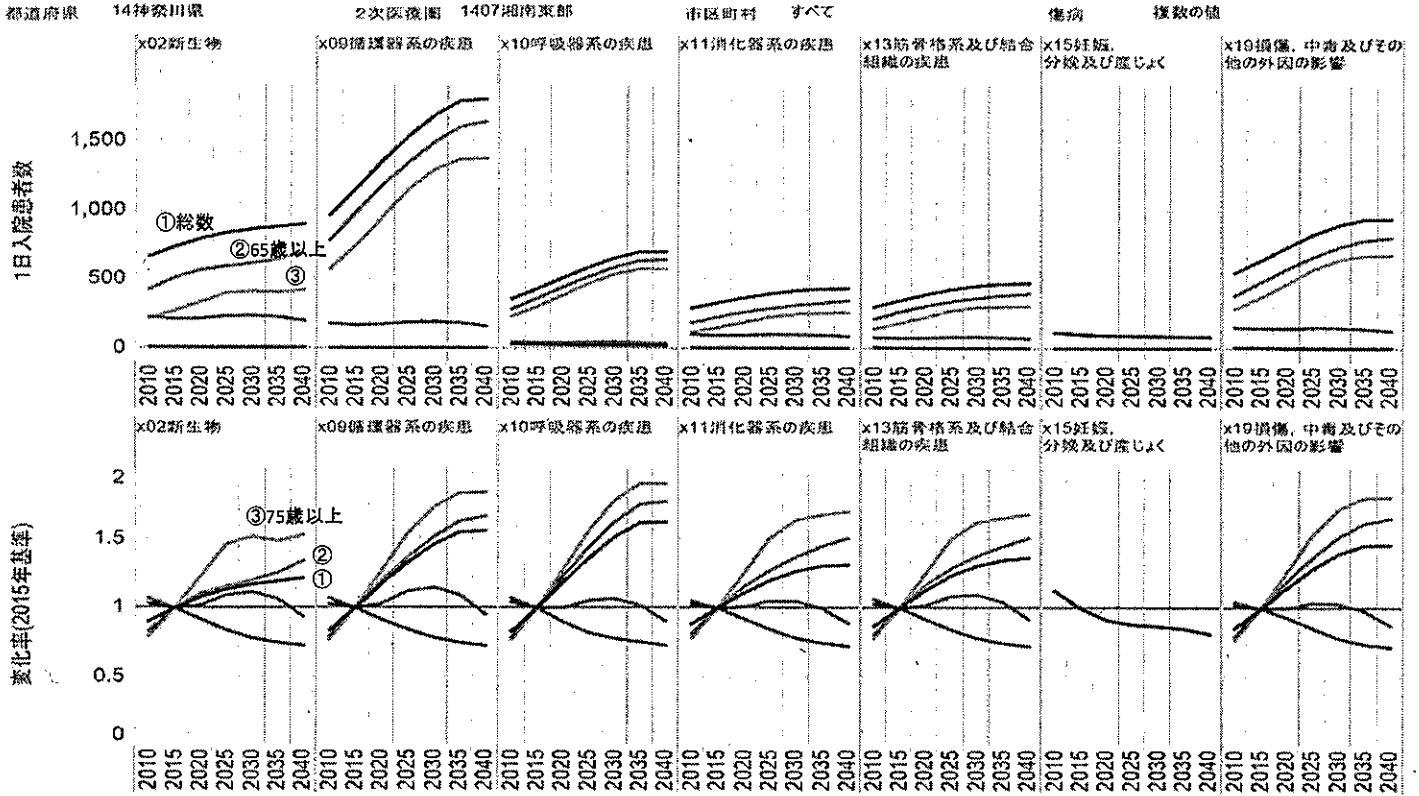


H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(円筒)

※人口:性年齢階級別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)  
 ※推計患者数:性年齢階級別人口×性年齢階級別受療率(H26年患者調査)

- ・人口は年々減少するが、65歳以上の高齢者は年々増え続け、2015年比で2025年は1.1倍、2040年は1.31倍となる。特に75歳以上は2010年比で2025年は1.46倍、2040年は1.54倍となる。
- ・患者数は、2025年には2015年比1.21倍に増加し、2040年にも1.35倍に増加する。特に65歳以上、75歳以上の患者は増え続け、65歳未満の患者は年々減少する。

# 湘南東部地域における疾患別の入院患者の推移

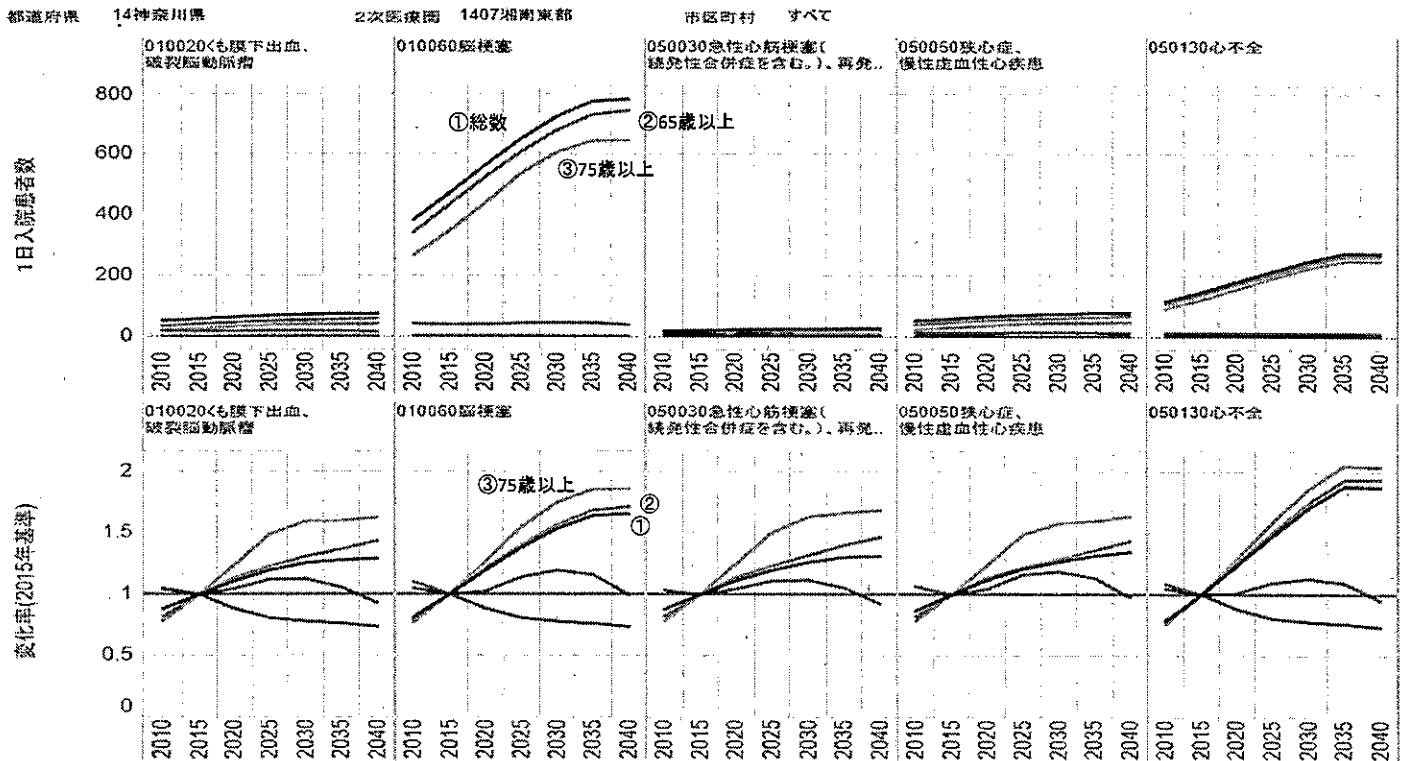


H26患者調査-入院受療率(全国)社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(西暦)

※推計患者数: 性年齢階級別人口 × 性年齢階級別受療率(H26年患者調査)

・分娩及び産じょくを除き、すべての疾患で増加し続ける。循環器、呼吸器系の疾患の増加率が高い。

# 湘南東部地域における疾患別の入院患者の推移(循環器系)

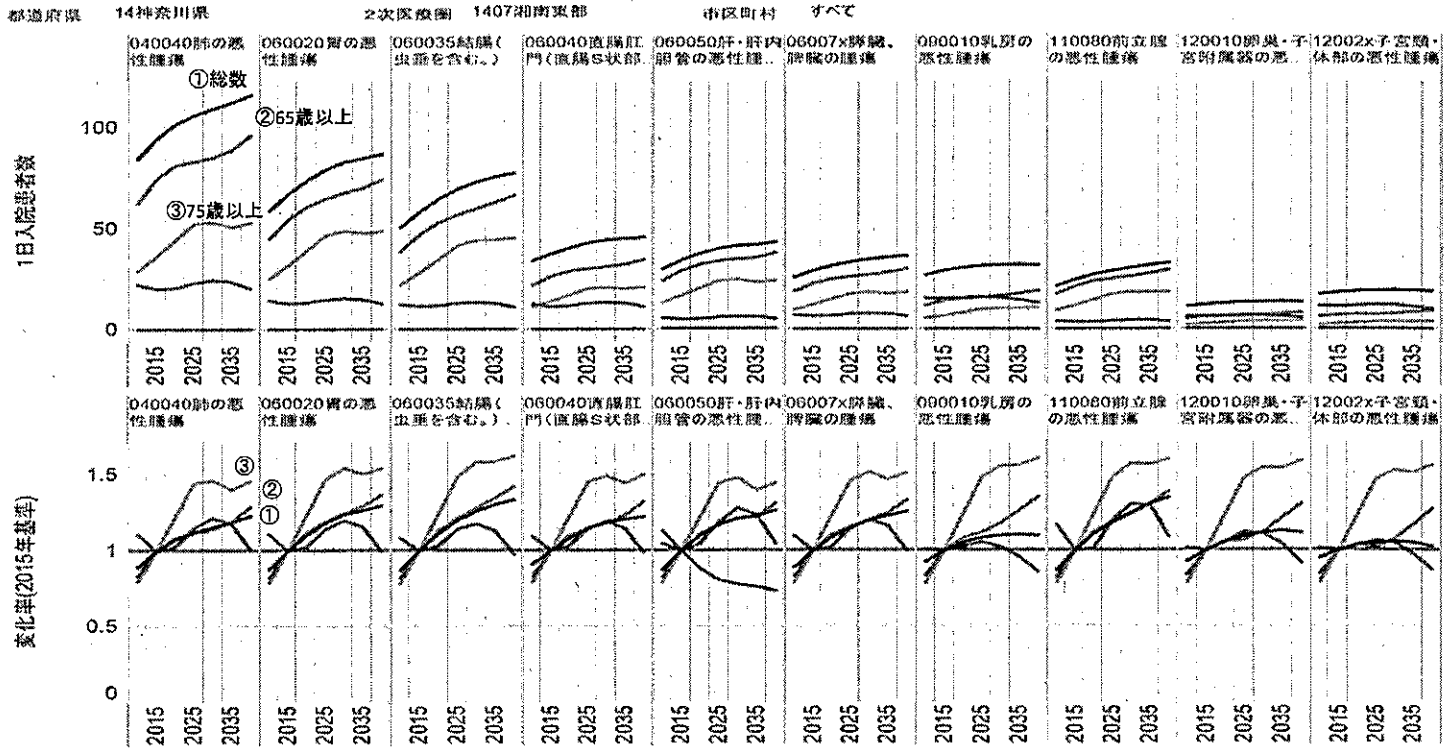


H26患者調査-入院受療率(全国)社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(西暦)

※推計患者数: 性年齢階級別人口 × 性年齢階級別受療率(H26年患者調査)

・2025年には全体的に増加するが、特に脳梗塞、心不全の増加率が高い。

# 湘南東部地域における疾患別の入院患者の推移(がん)



H26患者調査・入院受療率(全国)・社入研人口推計に基づく簡易版入院患者推計・kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(人口)

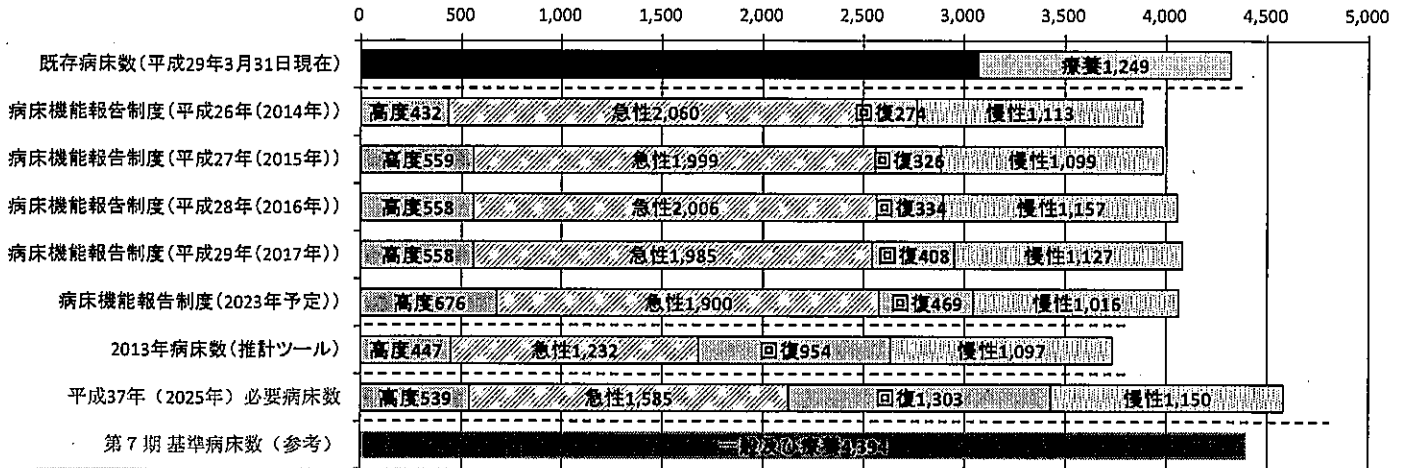
※推計患者数: 性年齢階級別人口 × 性年齢階級別受療率(H26年患者調査)

・2025年には全体的に増加するが、胃がん、大腸がん、肝がん、すい臓がん、前立腺がんの増加率が高い。

## 湘南東部における要介護者・要支援者等推計・介護施設等の状況

利用者数等(人)	2015年度	2016年度	2017年度 (見込)	2018年度 (推計)	2019年度 (推計)	2020年度 (推計)	2025年度 (推計)
要支援・要介護認定者数(65歳以上)	26,762	27,679	28,642	29,228	29,866	30,552	36,470
サービス利用者数(人)	22,386	24,589	23,393	24,913	25,928	26,885	
居宅等サービス利用者数	17,537	17,594	16,164	16,904	17,600	18,206	
地域密着型サービス利用者数	1,697	3,774	3,744	4,193	4,428	4,634	
施設サービス利用者数	3,153	3,221	3,485	3,816	3,900	4,045	
介護保険施設・特定施設等整備数(定員)	2015年度	2016年度	2017年度 (見込)	2018年度 (計画)	2019年度 (計画)	2020年度 (計画)	
特別養護老人ホーム	1,828	2,268	2,358	2,417	2,417	2,517	
介護老人保健施設	1,316	1,316	1,416	1,416	1,416	1,416	
介護療養型医療施設	120	116	116	116	116	116	
介護専用型特定施設	286	286	286	286	286	286	
混合型特定施設	2,206	2,206	2,178	2,178	2,178	2,178	
認知症グループホーム	696	699	753	753	771	789	

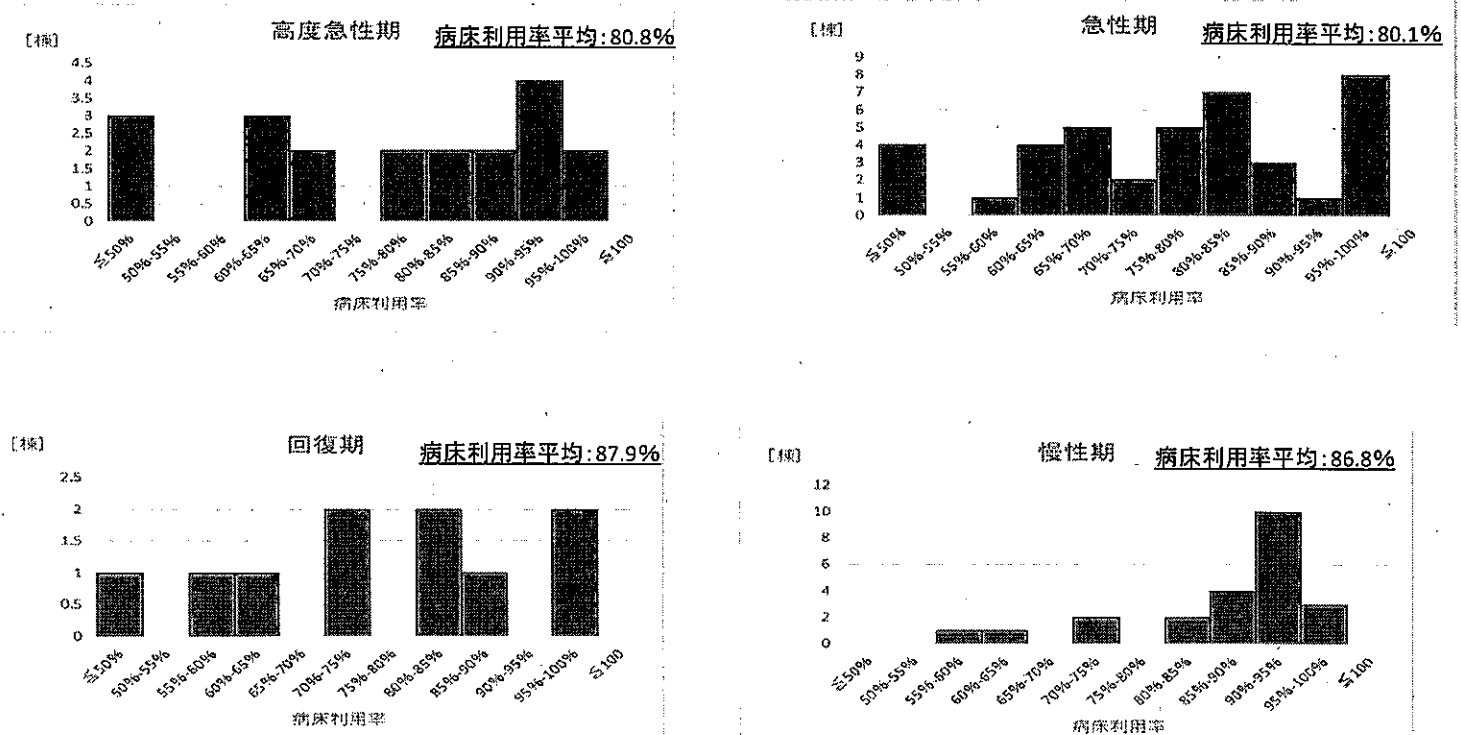
湘南東部における病床数(全体)



区分	一般病床				療養病床	合計	備考	
	高度急性期	急性期	回復期	小計	慢性期	合計		
既存病床数(平成30年4月1日現在)	3,070				1,249	4,319	H19.1.1以前に許可の有床数を含めていないことや補正の関係から病床機能報告等の結果と数値が異なる	
現状	区分	高度急性期	急性期	回復期	小計	慢性期	合計	
	病床機能報告制度(平成26年(2014年))	432	2,060	274	2,766	1,113	3,879	現状把握の指標として用いられるとされている数値。報告率94.2% 休棟中等30床を除く
	病床機能報告制度(平成27年(2015年))	559	1,999	326	2,884	1,099	3,983	同上。報告率97.6% 休棟中等46床は除く
	病床機能報告制度(平成28年(2016年))	558	2,006	334	2,898	1,157	4,055	同上。報告率100% 休棟中等16床は除く
	病床機能報告制度(平成29年(2017年))	558	1,985	408	2,951	1,127	4,078	同上。報告率100% 休棟中等2床は除く
	病床機能報告制度(2023年予定)	676	1,900	469	3,045	1,016	4,061	同上。報告率100% 休棟中等19床は除く
	平成25年(2013年)病床数(推計ツール)	447	1,232	954	2,633	1,097	3,730	将来の必要病床数の推計方法と同じ計算方法で算出した平成25年(2013年)の病床数
将来	平成37年(2025年)必要病床数	539	1,585	1,303	3,427	1,150	4,577	
参考	基準病床数	-				-	4,394	保健医療計画(第7期)の数値
								9

病床利用率の分布状況(H29病床機能報告より)

病床利用率:年間在棟患者延べ数/(稼働病床数×365日)



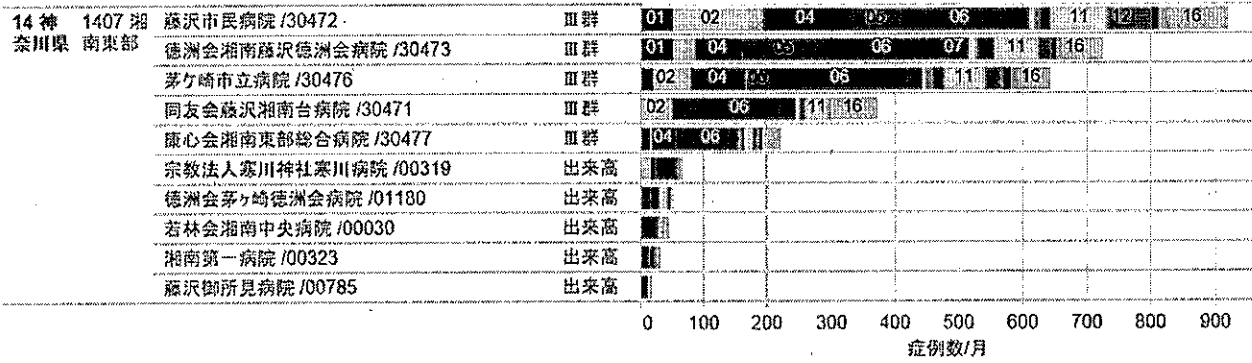
※稼働病床数0、入院患者数0の病棟は除く

(参考)湘南東部におけるDPC対象病院の診療実績  
(平成27年度DPCデータ: MDC別全患者)

MDC別患者数

都道府県 14 神奈川県

2次医療圏 1407 湘南東部



病院種別

- I群
- II群
- III群
- 準備
- 出来高

MDC別

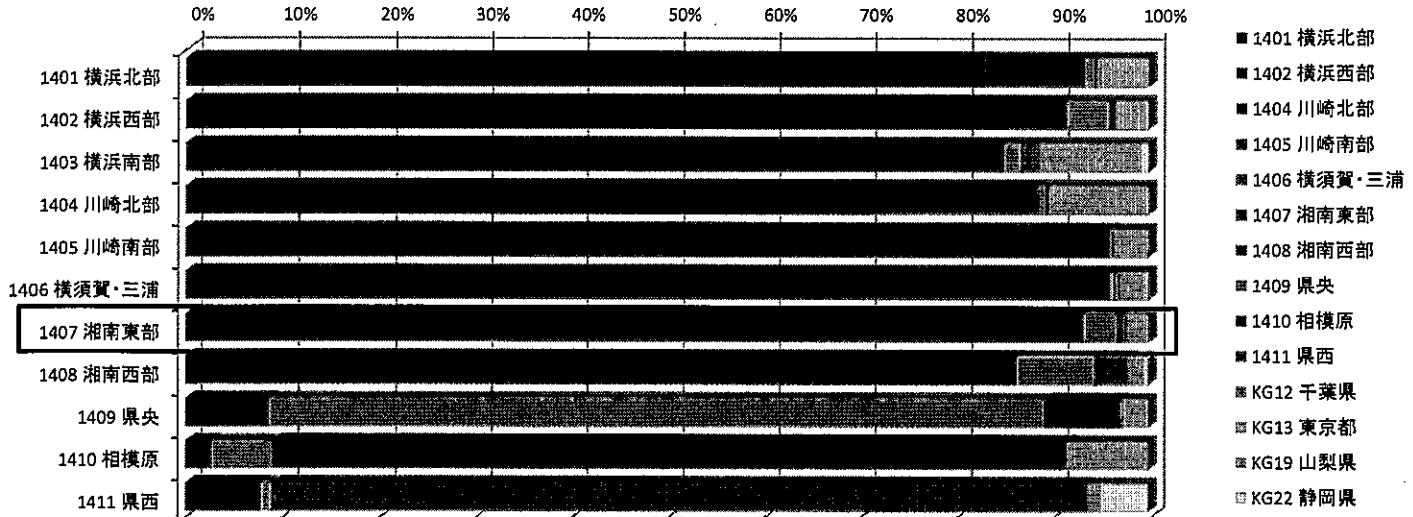
- 01神経系疾患
- 02眼科系疾患
- 03耳鼻咽喉科
- 04呼吸器系疾
- 05循環器系疾
- 06消化器系疾
- 07筋骨格系疾
- 08皮膚・皮下
- 09乳房の疾患
- 10内分泌・栄
- 11腎・尿路系
- 12女性生殖器
- 13血液・造血
- 14新生児疾患
- 15小児疾患
- 16外傷・熱傷
- 17精神疾患
- 18その他

出典: <http://public.tableau.com/profile/kbshikawa#!/>  
国立がん研究センター 石川ベンジャミン光一先生

# 入院基本料



## 神奈川県における入院医療の自己完結率 (平成28年度NDBデータ:一般病床入院 7:1、10:1)

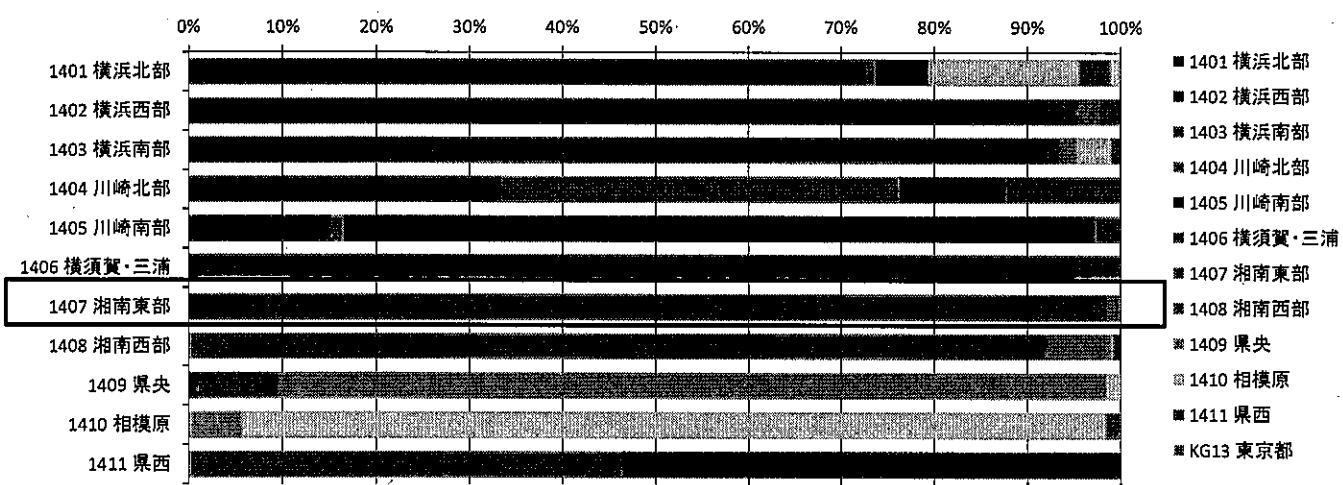


1401 横浜北部	62.3%	9.1%	2.1%	1.1%	10.0%	0.3%	0.1%	0.0%	0.4%	7.6%	0.0%	0.1%	0.1%	5.9%	0.1%	0.1%	95,128
1402 横浜西部	6.1%	74.9%	8.9%	0.3%	0.8%	2.5%	1.8%	0.0%	1.6%	0.2%	0.0%	0.1%	0.1%	2.0%		0.0%	78,492
1403 横浜南部	2.1%	12.8%	62.8%	0.2%	0.6%	3.3%	0.8%	0.1%	1.9%	11.7%	0.0%	0.0%	0.2%	2.8%		0.1%	87,279
1404 川崎北部	13.8%	0.5%	0.3%	53.8%	18.6%	0.1%	0.0%	0.0%	0.3%	0.2%	0.0%	0.0%	0.1%	11.5%		0.9%	35,388
1405 川崎南部	5.0%	0.8%	0.5%	2.5%	66.5%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	3.7%			39,876
1406 横須賀・三浦	0.7%	1.5%	12.9%	0.1%	0.4%	79.4%	1.8%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	2.0%		0.0%	57,311
1407 湘南東部	0.5%	1.8%	1.3%	0.1%	0.2%	10.7%	79.4%	1.5%	1.6%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%	1.8%		0.0%	44,372
1408 湘南西部	0.3%	0.4%	0.4%	0.1%	0.1%	0.5%	2.0%	86.4%	4.5%	0.1%	3.0%	0.0%	0.0%	1.4%		0.1%	34,619
1409 県央	1.7%	2.1%	0.6%	0.5%	0.3%	0.4%	4.8%	1.4%	79.7%	5.0%	0.1%	0.1%	0.1%	2.8%		0.0%	47,281
1410 相模原	1.3%	0.5%	0.2%	0.8%	0.1%	0.1%	0.1%	3.3%	87.4%					6.0%		0.0%	12,816
1411 県西	0.3%	0.3%	0.3%	0.1%	0.3%	0.3%	0.4%	7.1%	0.6%	0.1%	82.2%			1.4%		6.0%	26,009
総計	74,799	80,778	72,724	22,204	52,424	58,132	41,678	33,547	44,186	31,308	22,752	276	778	20,196	159	2,008	556,351

・79.4%の患者が入院医療を圏域内で完結している。流出超過。

13

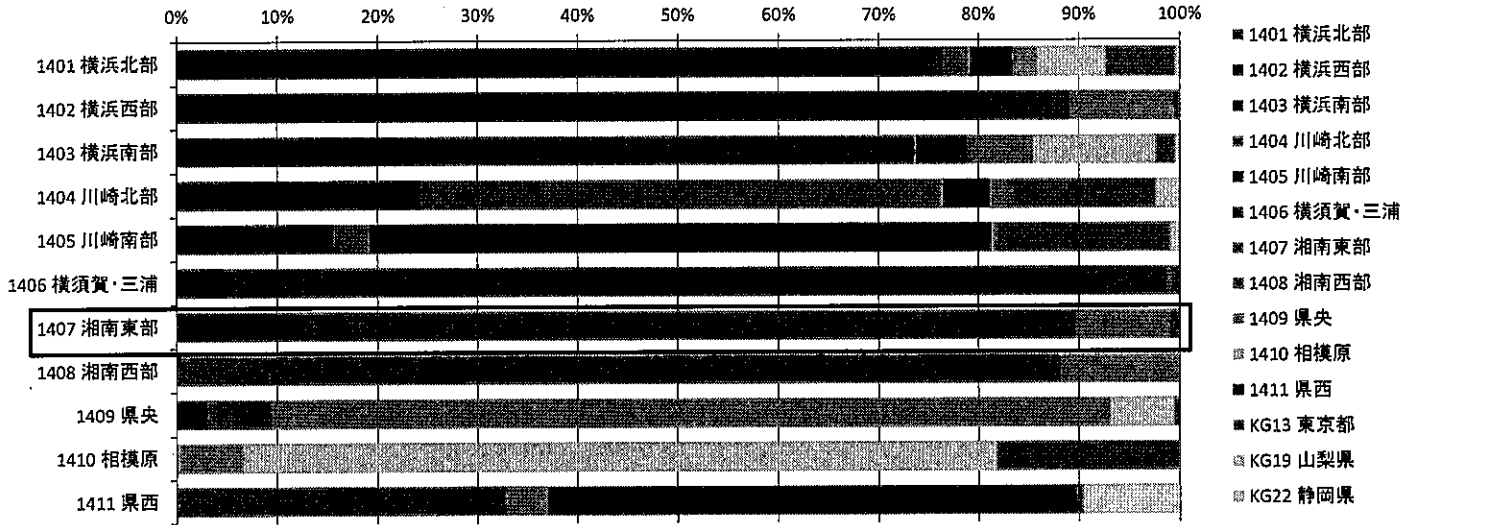
## 神奈川県における入院医療の自己完結率 (平成28年度NDBデータ:地域包括ケア病床入院)



1401 横浜北部	89.1%	2.2%	1.3%	0.9%	5.6%				0.4%	15.6%				3.5%	1.0%		6,582
1402 横浜西部	12.0%	71.9%	6.9%		0.4%	0.4%	3.5%		2.5%					2.1%			3,899
1403 横浜南部	2.0%	15.7%	71.4%		0.3%	2.4%	1.4%		1.9%	3.6%				1.0%			5,218
1404 川崎北部	33.4%			42.3%	11.3%									12.3%			1,172
1405 川崎南部	15.2%			1.2%	80.7%									2.6%			1,827
1406 横須賀・三浦		1.0%	9.8%			84.2%	4.0%	0.2%						0.5%			3,503
1407 湘南東部		1.8%				4.0%	90.7%	1.9%	1.4%								2,462
1408 湘南西部							0.9%	91.0%	7.1%				0.8%				2,964
1409 県央	0.9%						7.5%	0.9%	88.9%	1.5%							2,518
1410 相模原									5.6%	92.7%				1.6%			852
1411 県西								46.3%			53.6%						647
総計	5,824	3,859	4,429	588	2,015	3,192	2,807	3,080	2,766	2,047	372	598	67				31,644

・90.7%の患者が入院医療を圏域内で完結している。やや流入超過。

## 神奈川県における入院医療の自己完結率 (平成28年度NDBデータ:回復期リハビリテーション病床入院)

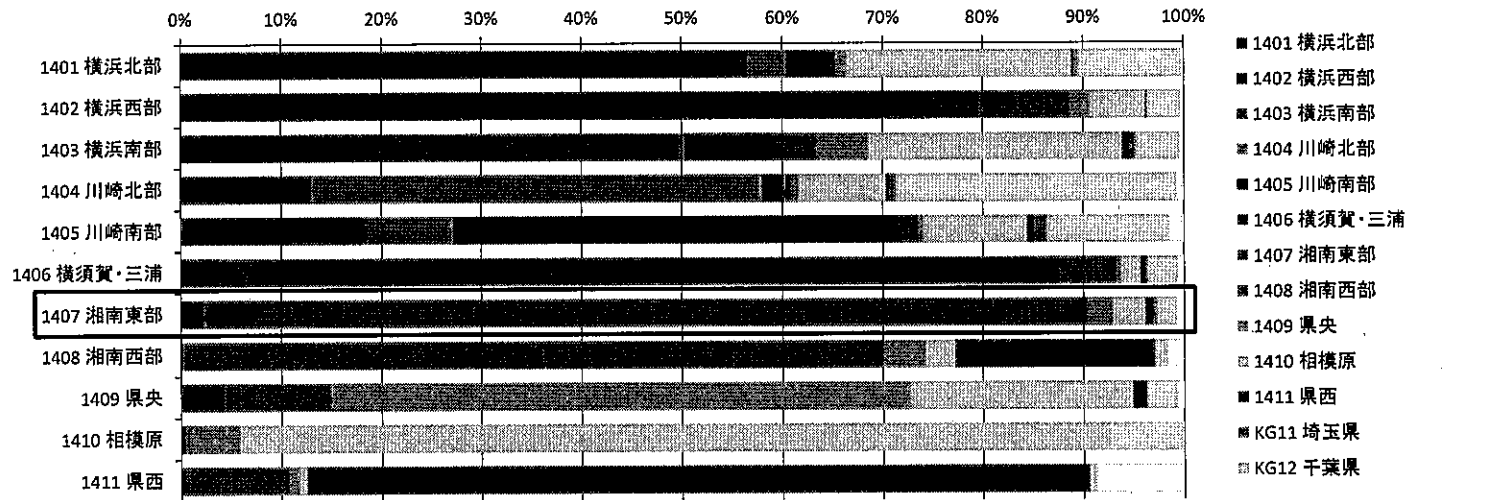


1401 横浜北部	68.00%	6.54%	1.81%	2.76%	4.26%			0.31%	2.19%	6.87%	6.85%	0.41%	6,085		
1402 横浜西部	11.36%	69.26%	5.48%		0.29%	1.01%	1.23%	0.45%	10.46%		0.47%		5,767		
1403 横浜南部	3.08%	18.84%	51.62%	0.25%	0.17%	3.74%	0.31%	0.80%	6.67%	12.09%	2.08%	0.37%	7,119		
1404 川崎北部	24.26%			52.18%	4.77%				2.38%		14.05%	2.35%	3,273		
1405 川崎南部	14.44%	1.13%		3.58%	62.14%				0.60%		17.23%	0.87%	2,652		
1406 横須賀・三浦	0.25%	4.64%	29.53%			56.12%	1.36%	6.87%	0.45%		0.78%		4,483		
<b>1407 湘南東部</b>		0.96%				11.67%	71.07%	5.87%	9.50%		0.93%		3,222		
1408 湘南西部		0.39%				5.40%	82.41%	11.80%					2,797		
1409 県央	1.69%	1.36%		0.87%		2.34%	3.18%	83.71%	6.31%		0.54%		3,677		
1410 相模原								6.66%	75.13%		18.21%		1,126		
1411 県西								32.85%	4.14%	52.77%	0.71%	9.54%	1,982		
総計	6,262	6,093	5,425	2,021	2,092	3,216	<b>2,681</b>	3,672	5,196	2,357	1,046	1,812	125	215	42,183

・71.1%の患者が入院医療を圏域内で完結し、横須賀・三浦に11.7%流出している。流出超過。

15

## 神奈川県における入院医療の自己完結率 (平成28年度NDBデータ:療養病床入院)



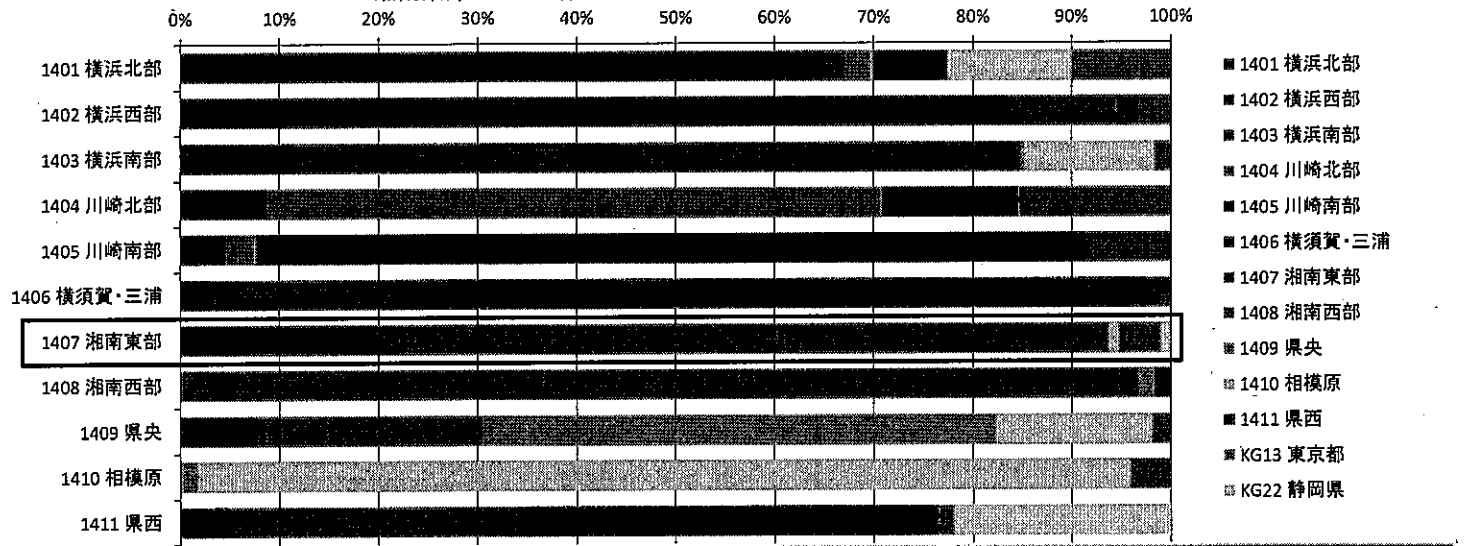
1401 横浜北部	49.39%	6.10%	1.07%	3.80%	3.30%	0.42%	0.21%	1.01%	1.14%	22.39%	0.26%	0.39%	0.71%	9.49%	0.97%	0.22%	14,706
1402 横浜西部	15.49%	69.28%	4.84%	0.41%		1.28%	5.73%	1.59%	2.08%	5.49%	0.12%	0.10%	0.27%	2.87%	0.14%	0.30%	9,350
1403 横浜南部	8.13%	11.51%	30.10%	0.58%	0.26%	8.50%	2.65%	1.66%	5.22%	25.26%	0.86%	0.49%	0.17%	4.19%		0.42%	12,723
1404 川崎北部	12.49%	0.55%		44.97%	2.15%		0.13%	0.57%	0.75%	8.72%	0.31%	0.64%	0.16%	27.28%	0.58%	0.68%	7,772
1405 川崎南部	15.94%	2.05%	0.39%	8.74%	44.41%		0.32%	0.70%	0.99%	0.42%	10.45%	0.72%	1.28%	2.89%	9.03%	0.22%	1,445
1406 横須賀・三浦	1.42%	2.41%	2.62%			80.17%	4.45%	1.19%	0.59%	1.92%	0.56%	0.17%	1.45%	1.43%		0.85%	9,660
<b>1407 湘南東部</b>	0.31%	2.03%	0.33%			4.74%	78.87%	4.09%	2.59%	3.16%	0.86%	0.34%	0.31%	1.59%		0.78%	7,680
1408 湘南西部		0.23%		0.11%			3.19%	66.52%	4.20%	2.63%	19.87%	0.11%	0.11%	1.07%		1.67%	11,012
1409 県央	1.59%	2.67%		0.35%		0.14%	2.97%	7.23%	57.86%	22.10%	1.41%		0.13%	2.87%		0.66%	9,029
1410 相模原	0.52%			0.58%					4.73%	86.77%			0.32%	7.09%			3,469
1411 県西	0.16%	0.16%				0.16%	0.41%	9.84%	1.11%	0.66%	78.11%		0.16%	0.48%		8.77%	7,564
総計	12,050	8,951	4,793	4,778	3,332	8,619	<b>8,071</b>	9,757	7,301	14,129	8,569	308	536	5,772	82	1,277	98,325

・78.9%の患者が入院医療を圏域内で完結している。流入超過。

16



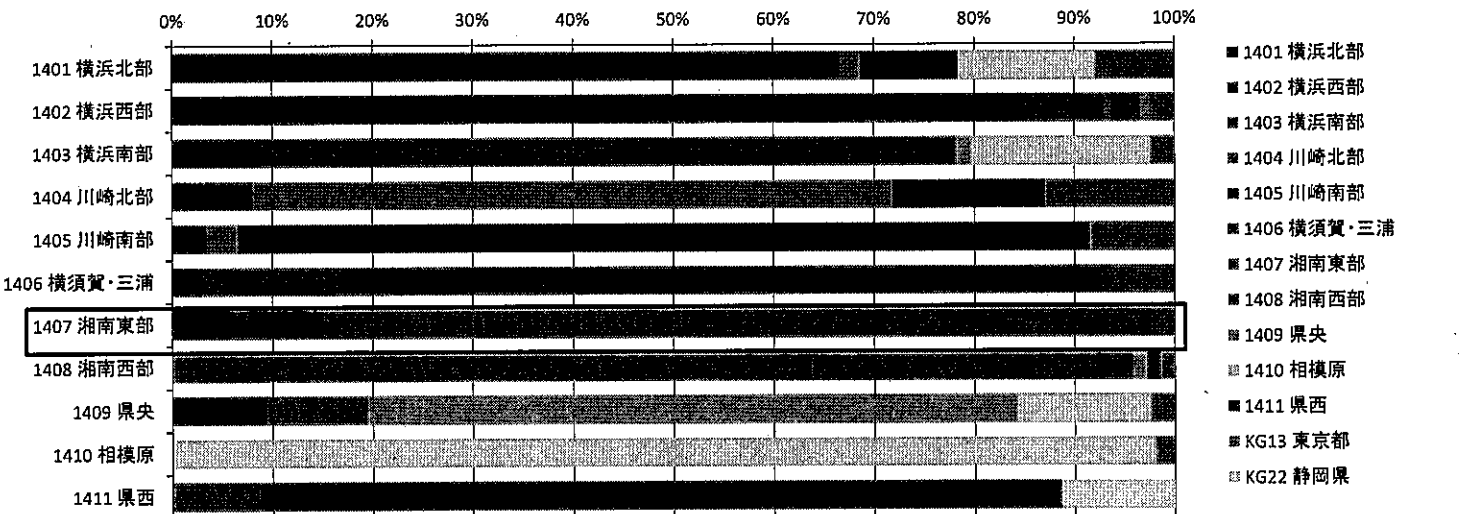
湘南東部における肺がんの自己完結率(平成28年度NDBデータ:入院)



1401 横浜北部	52.82%	12.25%	2.07%	2.75%	7.52%					12.61%	9.98%	3,086
1402 横浜西部	3.98%	79.65%	10.96%		0.63%	1.57%	1.14%	0.47%		1.61%	1.61%	2,364
1403 横浜南部	0.45%	11.32%	69.78%			2.58%		0.67%	0.35%	13.14%	1.72%	3,144
1404 川崎北部	7.98%	0.82%		62.01%	13.78%						15.42%	1,466
1405 川崎南部	4.60%			3.04%	82.73%	1.13%					8.49%	1,413
1406 横須賀・三浦		7.04%	19.63%			75.98%	0.70%				1.78%	2,270
1407 湘南東部		7.51%	1.60%			10.54%	67.33%	6.79%		0.96%	4.31%	1,252
1408 湘南西部							1.35%	95.41%	1.62%		1.62%	1,481
1409 県央		7.80%	0.70%	0.55%			3.27%	18.17%	51.84%	15.70%	1.96%	1,987
1410 相模原									1.69%	94.25%	4.06%	591
1411 県西		4.95%						29.17%		42.45%	15.6%	768
総計	1,920	2,985	2,974	1,048	1,618	1,988	971	2,115	1,075	1,683	350	19,822

・67.3%の患者が入院医療を圏域内で完結し、横須賀・三浦に10.5%流出している。流出超過。

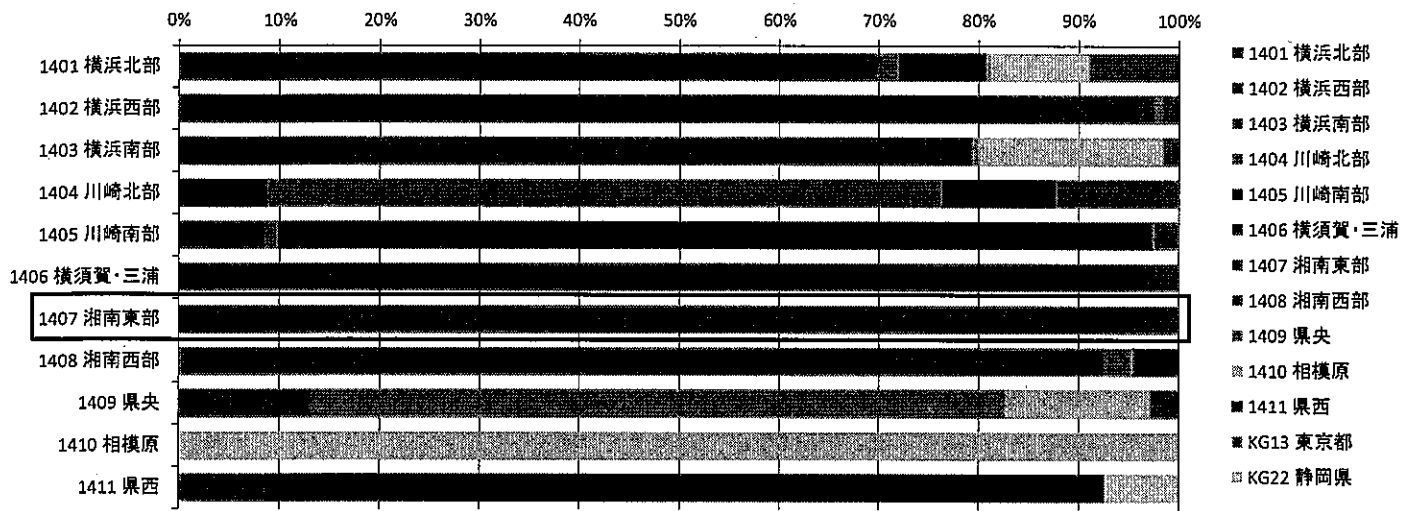
湘南東部における胃がんの自己完結率(平成28年度NDBデータ:入院)



1401 横浜北部	54.36%	10.55%	1.74%	2.00%	9.77%					13.68%	7.90%	2,303
1402 横浜西部	3.20%	81.22%	8.58%	0.66%		1.93%	1.02%			0.96%	2.44%	1,970
1403 横浜南部	0.83%	8.12%	66.17%			3.12%				1.34%	18.02%	2,536
1404 川崎北部	8.09%			63.73%	15.20%						12.98%	1,125
1405 川崎南部	3.50%			3.05%	84.97%						8.47%	885
1406 横須賀・三浦		3.03%	15.90%			73.78%	1.10%				6.19%	1,453
1407 湘南東部		5.74%	1.86%			7.44%	81.23%	1.38%			2.35%	1,236
1408 湘南西部							2.76%	93.09%	1.38%		1.38%	1,013
1409 県央		9.41%					3.05%	7.04%	64.74%	13.40%	2.37%	1,605
1410 相模原										98.07%	1.93%	519
1411 県西								8.85%		79.81%	11.34%	723
総計	1,458	2,315	2,141	803	1,148	1,281	1,117	1,137	1,106	1,496	591	15,368

・81.2%の患者が入院医療を圏域内で完結している。流出超過。

湘南東部における大腸がんの自己完結率(平成28年度NDBデータ:入院)

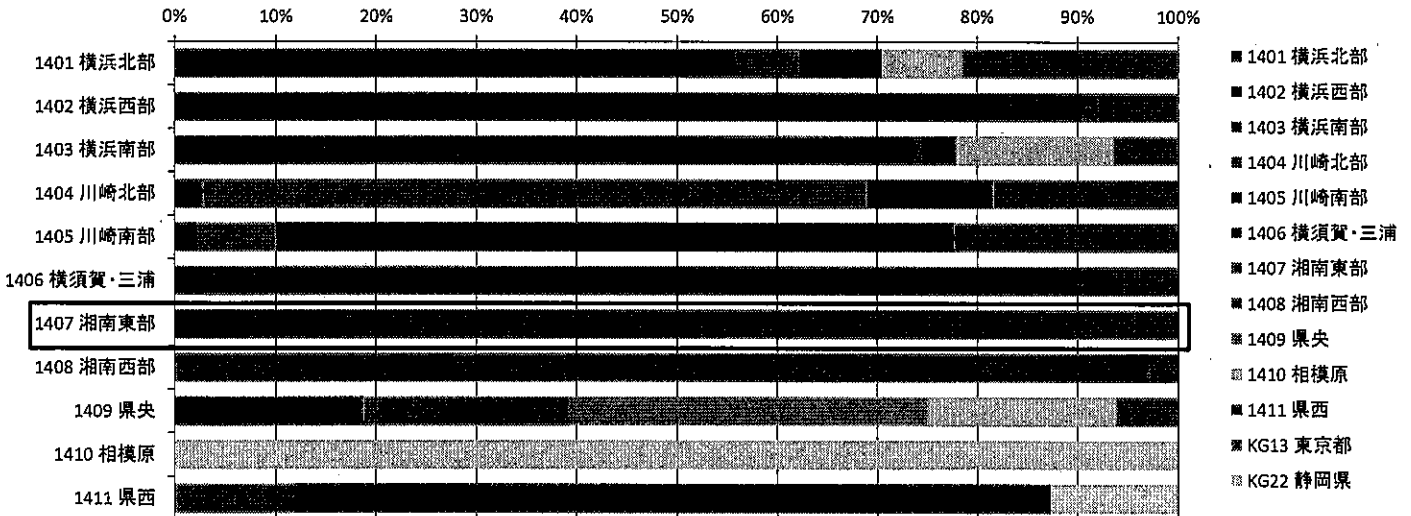


1401 横浜北部	58.50%	10.24%	1.00%	2.26%	8.73%			0.42%	9.90%	8.94%	2,393			
1402 横浜西部	4.42%	81.65%	9.06%			0.96%	1.42%		0.96%	1.53%	1,766			
1403 横浜南部	3.34%	13.23%	60.26%			2.57%		0.51%	18.54%	1.54%	2,335			
1404 川崎北部	8.78%			67.56%	11.39%					12.26%	1,264			
1405 川崎南部	8.49%			1.35%	87.58%					2.58%	813			
1406 横須賀・三浦	2.66%	1.07%	15.12%			77.21%	1.77%			2.38%	1,303			
<b>1407 湘南東部</b>	<b>1.09%</b>	<b>2.18%</b>	<b>1.00%</b>			<b>8.64%</b>	<b>83.18%</b>	<b>2.45%</b>		<b>1.45%</b>	<b>1,100</b>			
1408 湘南西部							1.21%	91.33%	2.89%	4.57%	1,073			
1409 県央		3.08%					2.80%	7.14%	69.63%	14.56%	1,429			
1410 相模原									100.00%		452			
1411 県西								8.62%		83.99%	731			
総計	1,780	2,678	1,799	919	1,065	1,178	<b>1,016</b>	1,172	1,065	1,330	663	540	54	14,659

・83.2%の患者が入院医療を圏域内で完結している。流出入拮抗。

21

湘南東部における肝がんの自己完結率(平成28年度NDBデータ:入院)

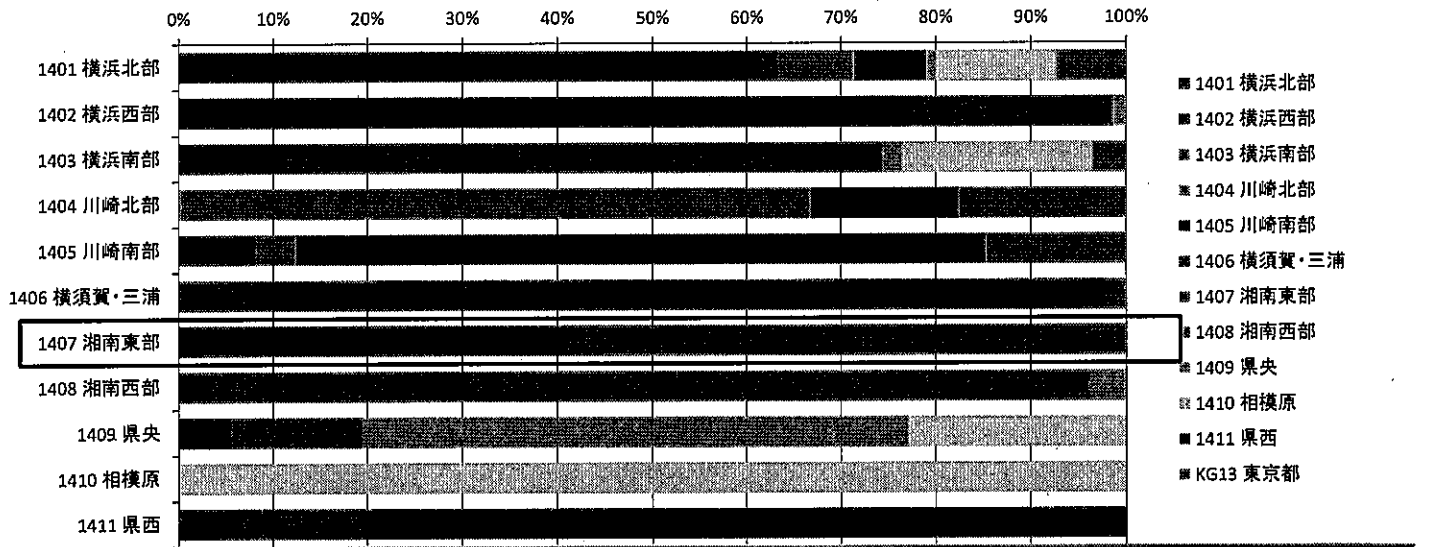


1401 横浜北部	42.54%	8.48%	4.73%	6.52%	8.23%					7.99%	21.52%	1,227		
1402 横浜西部	1.90%	76.66%	11.65%	1.74%		1.32%	1.16%				5.37%	1,210		
1403 横浜南部		13.52%	60.19%	0.80%		3.46%				15.65%	6.39%	1,502		
1404 川崎北部	2.70%			66.27%	12.59%						18.44%	667		
1405 川崎南部	2.18%			7.92%	67.52%						22.38%	505		
1406 横須賀・三浦		2.99%	21.46%			65.41%	4.68%				5.46%	769		
<b>1407 湘南東部</b>		<b>6.43%</b>	<b>2.39%</b>			<b>7.72%</b>	<b>71.51%</b>	<b>2.76%</b>			<b>9.19%</b>	<b>544</b>		
1408 湘南西部								94.91%		2.11%	2.98%	570		
1409 県央		18.72%		1.60%			3.88%	14.97%	35.83%	18.85%	6.15%	748		
1410 相模原										100.00%		194		
1411 県西								11.94%		75.37%	12.69%	402		
総計	574	1,435	1,281	607	526	613	<b>468</b>	716	268	668	315	816	51	8,338

・71.5%の患者が入院医療を圏域内で完結している。流出超過。

22

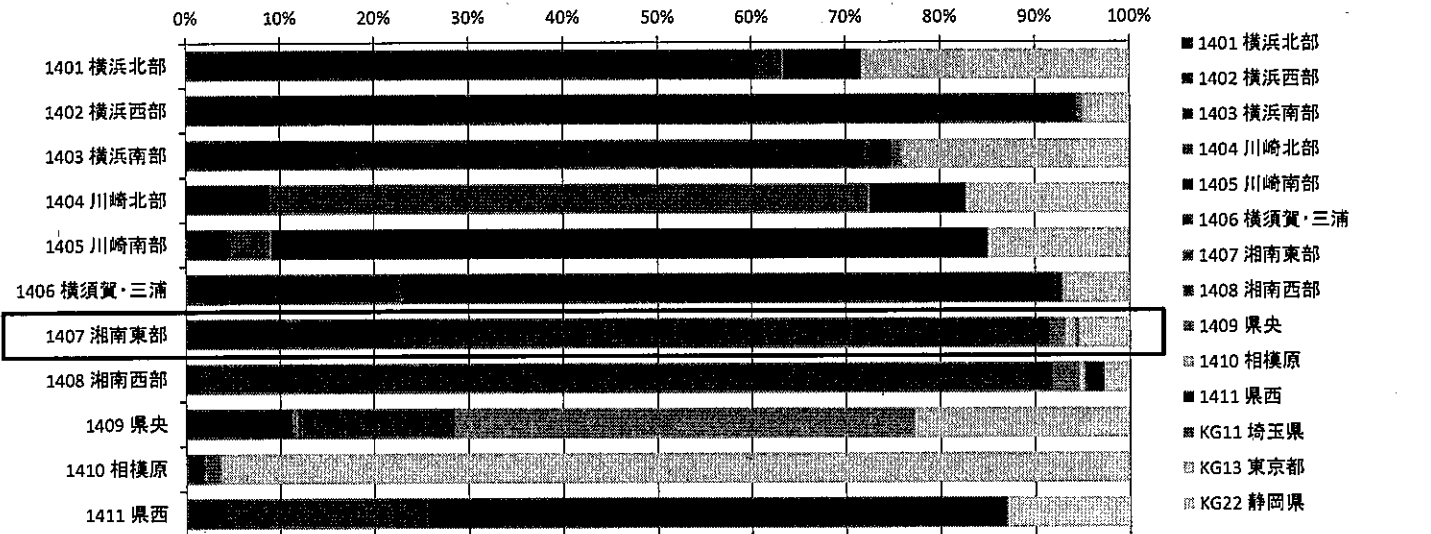
湘南東部における乳がんの自己完結率(平成28年度NDBデータ:入院)



1401 横浜北部	47.54%	13.52%	2.17%	8.22%	7.56%			1.04%	12.67%	7.28%	1,058		
1402 横浜西部	1.38%	76.07%	8.80%			12.38%		1.38%			727		
1403 横浜南部		10.15%	54.10%			10.15%		2.05%	19.98%	3.56%	926		
1404 川崎北部				66.81%	15.62%					17.57%	461		
1405 川崎南部	8.13%			4.38%	72.81%					14.69%	320		
1406 横須賀・三浦			21.05%			76.67%				2.28%	570		
1407 湘南東部		2.51%				37.13%	60.36%				439		
1408 湘南西部						2.91%		93.12%	3.97%		378		
1409 県央		5.56%					1.63%	12.25%	57.68%	22.88%	612		
1410 相模原									100.00%		237		
1411 県西					5.53%		15.21%			79.26%	217		
総計	539	835	708	409	385	807	275	460	408	696	172	251	5,945

-60.4%の患者が入院医療を圏域内で完結、37.13%が横須賀・三浦に流出している。流出超過。(H26から同傾向)

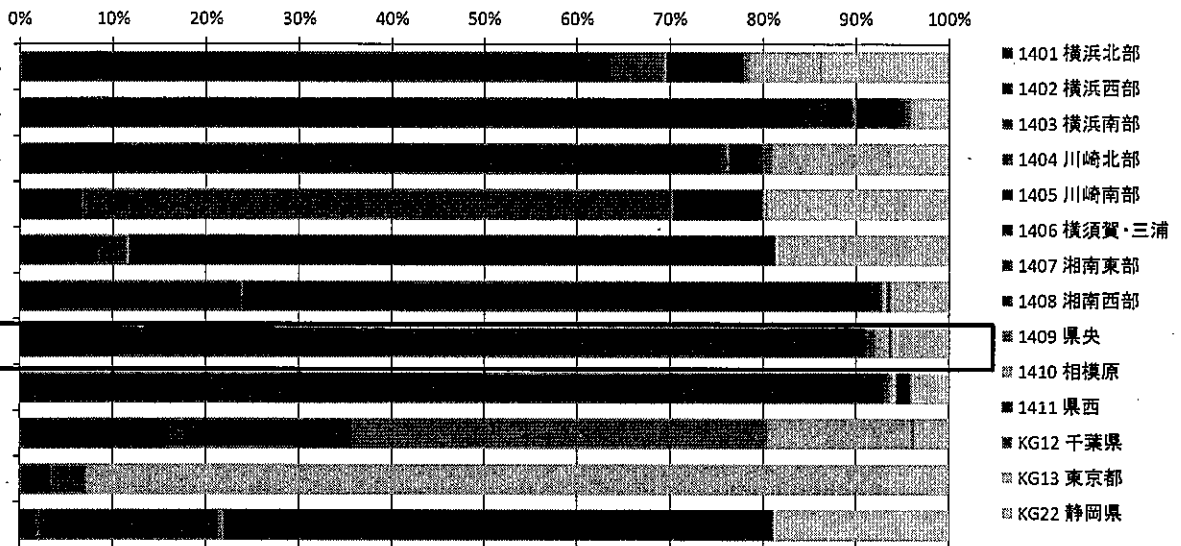
湘南東部における化学療法の自己完結率(平成28年度NDBデータ:入院)



1401 横浜北部	46.40%	11.45%	2.55%	3.08%	8.28%				10.79%	17.46%	5,459				
1402 横浜西部	3.55%	74.62%	12.39%		0.42%	2.50%	0.45%	0.25%	0.62%	4.12%	4,003				
1403 横浜南部	1.48%	11.66%	58.87%	0.45%		2.15%		0.24%	1.17%	5.80%	5,393				
1404 川崎北部	7.82%	1.17%		63.58%	10.15%					16.94%	2,916				
1405 川崎南部	2.44%	1.70%	0.63%	4.34%	75.99%					14.91%	2,053				
1406 横須賀・三浦	0.32%	4.09%	17.91%	0.69%		68.07%	0.96%			7.04%	3,323				
1407 湘南東部	0.47%	10.14%	1.88%			9.50%	61.62%	7.83%	1.67%	1.07%	0.43%	5.39%	2,337		
1408 湘南西部		1.43%						90.39%	2.78%	0.59%	2.11%	2.70%	2,373		
1409 県央	0.37%	10.96%		0.59%	0.34%		1.61%	14.60%	48.84%	18.50%		4.18%	3,540		
1410 相模原	0.90%	1.06%		1.81%						93.67%		2.53%	1,106		
1411 県西	0.66%	2.44%	0.95%					21.71%			61.30%	1.49%	11.45%	1,677	
総計	3,089	5,166	4,478	2,199	2,337	2,730	1,547	3,232	1,922	3,344	1,078	10	2,856	192	34,180

-61.6%の患者が入院医療を圏域内で完結している。流出超過。

湘南東部における化学療法の自己完結率(平成28年度NDBデータ:外来)

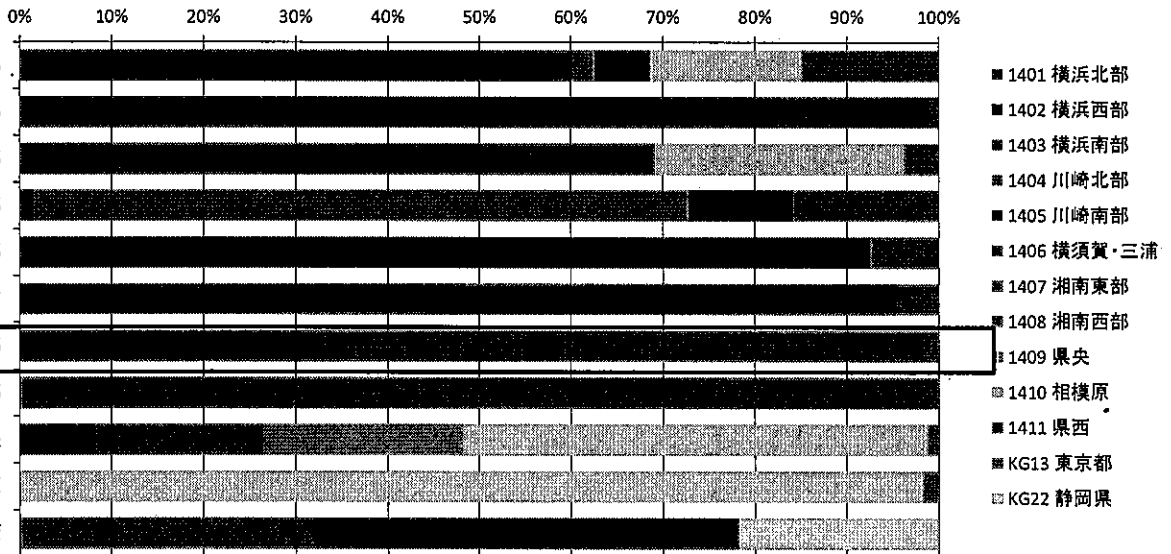


1401 横浜北部	48.49%	12.66%	2.51%	5.88%	8.25%	0.12%	0.25%	0.34%	7.66%	0.15%	13.69%	10873			
1402 横浜西部	3.13%	75.30%	11.13%	0.38%	1.05%	3.53%	0.60%	0.19%	0.68%	0.50%	3.51%	8640			
1403 横浜南部	0.89%	10.24%	64.36%	0.82%	0.18%	2.86%	0.45%	0.14%	1.11%	12.83%	5.95%	0.18%	11390		
1404 川崎北部	6.14%	0.52%		63.70%	9.20%	0.47%			0.24%	0.20%	19.53%	5914			
1405 川崎南部	5.51%	2.34%	0.26%	3.64%	69.60%						18.65%	3845			
1406 横須賀・三浦	0.48%	3.63%	19.59%	0.22%	0.20%	67.34%	1.10%	0.16%	0.37%	0.60%	6.16%	6806			
1407 湘南東部	0.20%	10.52%	2.17%	0.37%		14.34%	56.24%	7.29%	0.97%	1.46%	0.22%	0.24%	5.43%	0.51%	5475
1408 湘南西部		1.59%	0.18%		0.71%	0.48%	90.14%	0.57%	0.64%	1.53%	0.21%	2.98%	0.96%	5610	
1409 県央	0.72%	15.02%	0.38%	1.59%		0.16%	1.99%	15.76%	44.80%	15.51%	0.34%	3.72%		6772	
1410 相模原	0.83%	2.49%		3.91%					86.24%			6.62%		1686	
1411 県西		1.88%		0.35%		0.35%		18.71%	0.62%		59.22%	3.24%	15.62%	3399	
総計	6325	11,205	10,084	4,897	4,249	6,103	3,419	7,229	3,362	4,996	2,111	117	5,700	633	70,410

・56.2%の患者が入院医療を圏域内で完結し、14.3%が横須賀三浦へ流出している。流出超過。

25

湘南東部における放射線治療の自己完結率(平成28年度NDBデータ:入院)

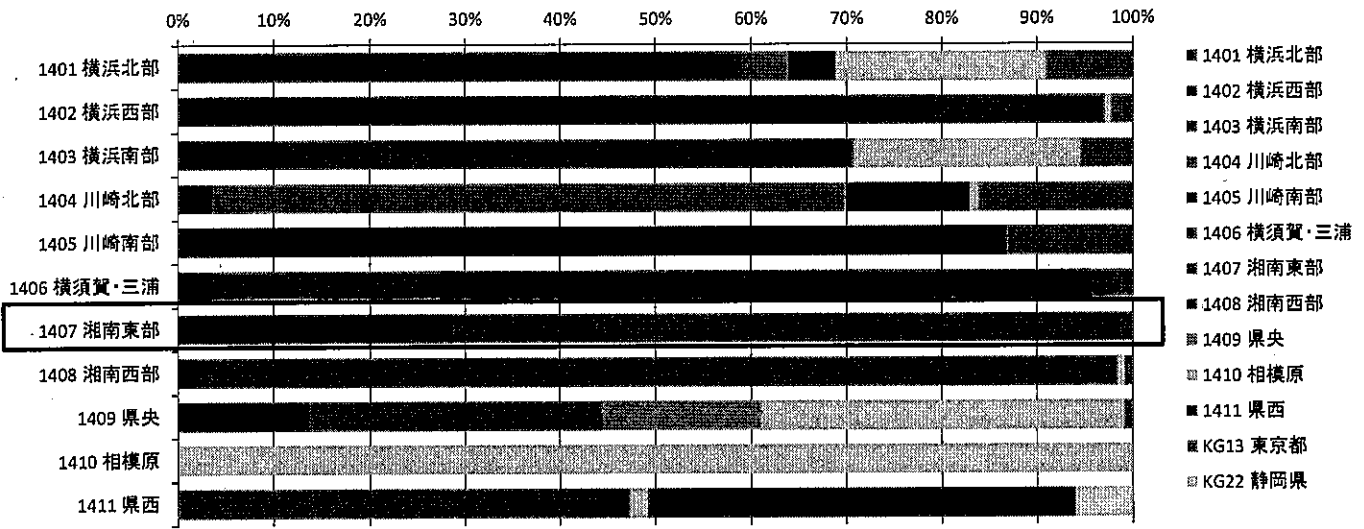


1401 横浜北部	40.07%	17.77%	2.26%	2.48%	6.08%				16.43%	14.91%	2.30%			
1402 横浜西部	2.92%	78.83%	12.54%			4.78%			0.93%	1.50%				
1403 横浜南部	0.48%	8.45%	54.25%			5.97%			27.02%	3.83%	2.29%			
1404 川崎北部	1.48%			71.28%	11.41%					15.84%	745			
1405 川崎南部	1.40%				91.20%					7.40%	784			
1406 横須賀・三浦		2.46%	25.51%			67.49%				4.55%	1,584			
1407 湘南東部		12.79%	2.39%			15.65%	59.35%	8.30%		1.53%	1,048			
1408 湘南西部							100.00%				539			
1409 県央		8.24%					18.25%	21.69%	50.64%	1.18%	1,019			
1410 相模原									98.26%	1.74%	633			
1411 県西								32.04%		46.25%	21.71%	387		
総計	999	2,048	1,915	588	940	1,442	622	936	221	2,136	179	732	84	12,842

・59.4%の患者が入院医療を圏域内で完結し、15.7%が横須賀三浦へ流出している。流出超過。

26

湘南東部における放射線治療の自己完結率(平成28年度NDBデータ:外来)



自治体	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	患者数		
1401 横浜北部	47.70%	10.46%	0.93%	4.78%	5.00%				22.06%	9.07%		8,138		
1402 横浜西部	3.26%	75.93%	10.13%			7.82%			0.62%	2.23%		6,099		
1403 横浜南部		8.42%	49.33%			13.06%			23.69%	5.50%		7,020		
1404 川崎北部	3.60%			66.31%	13.06%				0.91%	16.12%		2,642		
1405 川崎南部	7.55%				79.30%					13.15%		1,749		
1406 横須賀・三浦		3.43%	24.13%			68.04%	2.59%			1.80%		4,049		
1407 湘南東部		8.40%				20.27%	64.33%	6.10%		0.90%		3,883		
1408 湘南西部		1.94%					2.84%	93.64%	0.75%	0.37%	0.45%	2,674		
1409 県央		13.76%					2.55%	28.13%	16.65%	37.99%	0.93%	3,328		
1410 相模原										100.00%		1,968		
1411 県西								47.30%	1.85%	44.86%	5.99%	1,186		
総計	4.308	7,048	5,134	2,141	2,139	4,936	2,764	4,238	554	6,794	542	2,067	71	42,736

・64.3%の患者が入院医療を圏域内で完結し、20.3%が横須賀三浦へ流出している。流出超過。 27

湘南東部におけるがん関連の医療的行為に関する  
年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成28年度NDBデータ)

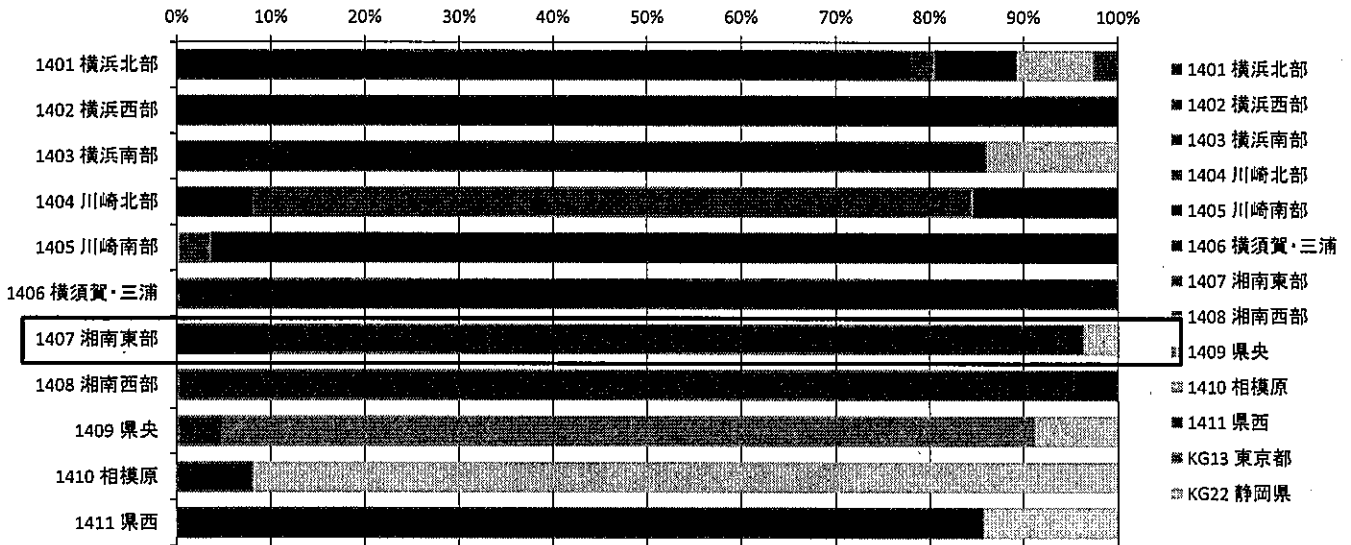
がん種別	0.0	50.0	100.0	150.0	200.0	250.0	300.0	350.0	区分	湘南東部
がん診療連携拠点病院にによる医学的治療の体制									入院	38.3
胃癌の内視鏡的手術(入院)									入院	88.7
胃癌の内視鏡的手術(外来)									外来	116.5
胃のEMR(入院)									入院	37.4
胃のEMR(外来)									外来	313.4
胃のESD									入院	65.0
胃癌の放射線治療等(入院)									入院	131.7
胃癌の放射線治療等(外来)									外来	99.3
胃癌の全摘除等									入院	8.6
胃癌の全摘除等									外来	114.9
大腸癌の内視鏡的手術									入院	122.3
大腸癌の内視鏡的手術									外来	120.6
結直腸の内視鏡的手術(全体)									入院	97.9
結直腸の内視鏡的手術(全体)									外来	151.2
大腸癌の腹腔鏡手術等									入院	3.5
大腸癌の腹腔鏡手術等									外来	119.4
直腸癌の内視鏡的手術(外来)									外来	82.5
直腸癌の内視鏡的手術(入院)									入院	50.8
直腸癌の骨盤内臓全摘除等									入院	64.5
肺癌の手術等									入院	44.9
肺癌の手術等									外来	36.4
乳癌の根治的手術									入院	22.0
乳癌の根治的手術									外来	68.0
乳腺の他の手術									入院	31.5
乳腺の他の手術									外来	34.3
マンモグラフィー									入院	71.7
マンモグラフィー									外来	30.4
肝臓のマイクド波凝固療法等									入院	53.8
肝臓のマイクド波凝固療法等									外来	64.9
肝臓の肝切除・部分切除等									入院	50.5
肝臓の肝切除・部分切除等									外来	59.7
膵臓の化学療法									入院	69.1
膵臓の化学療法									外来	40.7
膵臓の化学療法									入院	44.3
膵臓の化学療法									外来	14.7
放射線治療等(加算)									入院	101.3
放射線治療等(加算)									外来	149.2
放射線治療等(加算)									入院	35.8
放射線治療等(加算)									外来	104.2
放射線治療等(加算)									入院	50.3
放射線治療等(加算)									外来	99.0
放射線治療等(加算)									入院	50.5
放射線治療等(加算)									外来	99.5
抗悪性腫瘍剤の処方管理									入院	113.7
抗悪性腫瘍剤の処方管理									外来	120.4
がん診療連携拠点病院の診療体制									入院	122.1
がん診療連携拠点病院の診療体制									外来	31.4
がん診療連携拠点病院の診療体制									入院	57.9
がん診療連携拠点病院の診療体制									外来	39.1
抗悪性腫瘍剤の処方管理									入院	131.4
抗悪性腫瘍剤の処方管理									外来	122.7
抗悪性腫瘍剤の処方管理									入院	112.8
抗悪性腫瘍剤の処方管理									外来	8.9
抗悪性腫瘍剤の処方管理									入院	102.4

<SCRとは>  
 ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)  
 ・SCR=年齢構成別レセプト数×100/年齢階級別人口×全国の年齢構成別レセプト出現率(※年齢は、原則5歳刻みで計算)  
 ・流入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、小さければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)



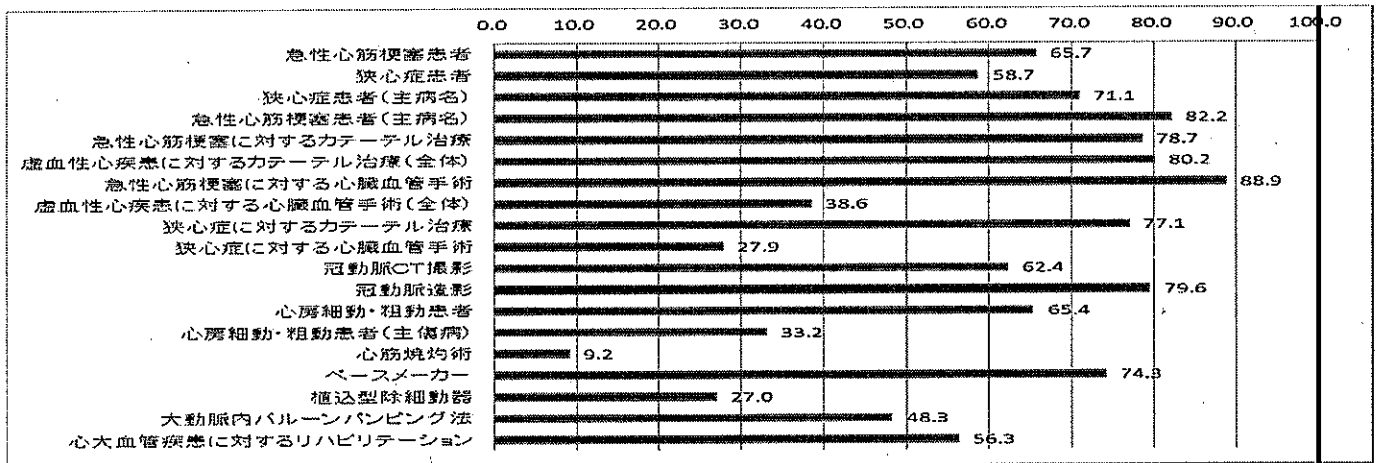
# 急性心筋梗塞

湘南東部における急性心筋梗塞患者の自己完結率(平成28年度NDBデータ:入院)



1401 横浜北部	70.07%	6.07%	1.78%	2.67%	8.74%	8.00%	2.67%	675
1402 横浜西部	3.10%	82.03%	14.87%					612
1403 横浜南部		6.74%	77.40%		1.95%	13.92%		668
1404 川崎北部	8.09%			78.55%	15.36%			371
1405 川崎南部				3.65%	96.35%			274
1406 横須賀・三浦			5.98%			94.02%		435
<b>1407 湘南東部</b>				9.80%	86.60%		3.59%	<b>306</b>
1408 湘南西部						95.52%	4.48%	335
1409 県央						4.77%	86.47%	377
1410 相模原				8.16%		91.84%		147
1411 県西							85.78%	232
合計	522	588	646	312	380	464	<b>265</b>	4,432

湘南東部における急性心筋梗塞関連の医療的行為に関する  
年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成28年度NDBデータ)



中分類	指標名	区分	湘南東部
虚血性心疾患	急性心筋梗塞患者	入院	65.7
虚血性心疾患	狭心症患者	入院	58.7
虚血性心疾患	狭心症患者(主病名)	入院	71.1
虚血性心疾患	急性心筋梗塞患者(主病名)	入院	82.2
虚血性心疾患	急性心筋梗塞に対するカテーテル治療	入院	78.7
虚血性心疾患	虚血性心疾患に対するカテーテル治療(全体)	入院	80.2
虚血性心疾患	急性心筋梗塞に対する心臓血管手術	入院	88.9
虚血性心疾患	虚血性心疾患に対する心臓血管手術(全体)	入院	38.6
虚血性心疾患	狭心症に対するカテーテル治療	入院	77.1
虚血性心疾患	狭心症に対する心臓血管手術	入院	27.9
虚血性心疾患	冠動脈CT撮影	入院	62.4
虚血性心疾患	冠動脈造影	入院	79.6
不整脈	心房細動・粗動患者	入院	65.4
不整脈	心房細動・粗動患者(主病名)	入院	33.2
不整脈	心筋焼灼術	入院	9.2
不整脈	ペースメーカー	入院	74.3
不整脈	植込型除細動器	入院	27.0
その他	大動脈内バルーンパンピング法	入院	48.3
その他	心大血管疾患に対するリハビリテーション	入院	56.3

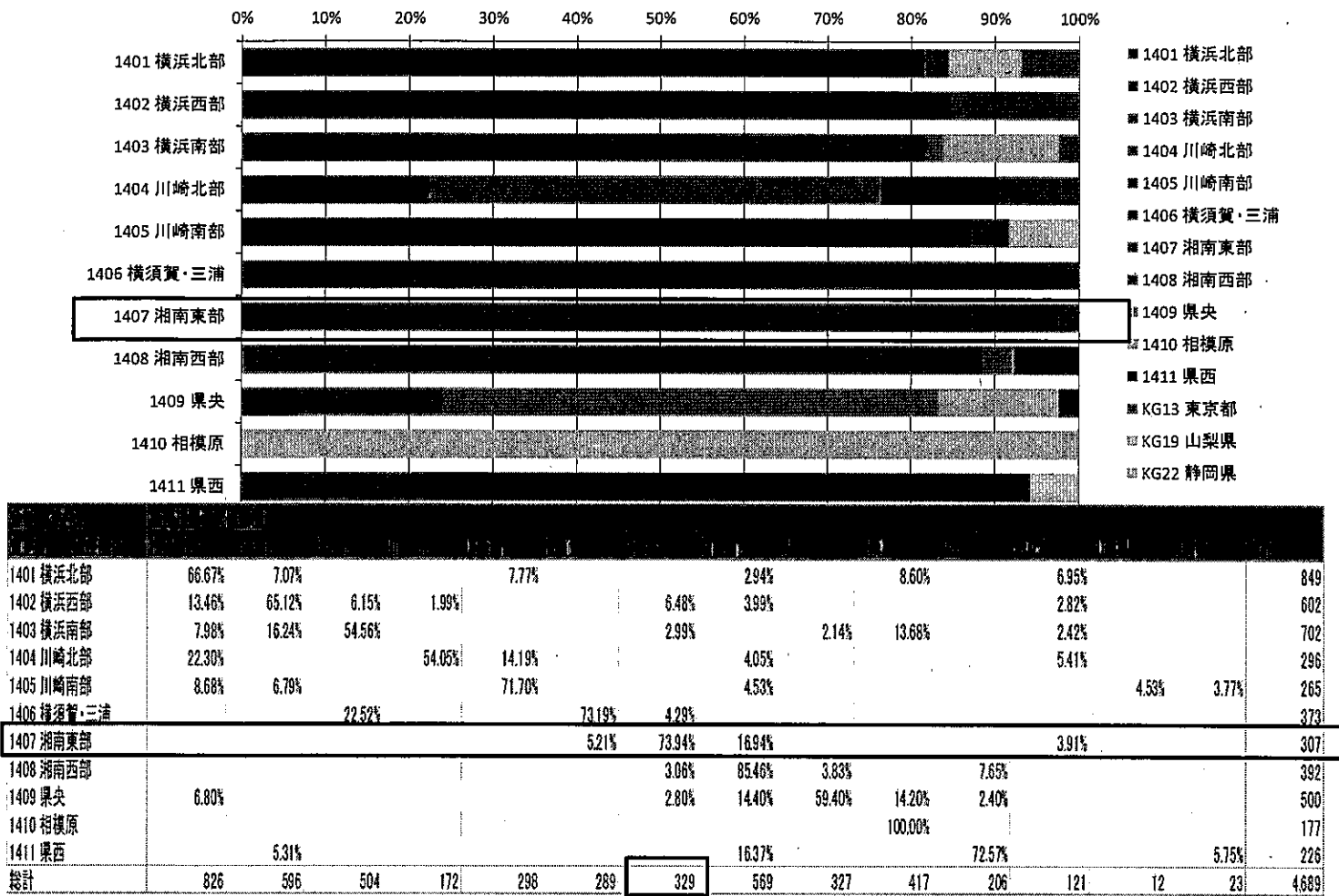
<SCRとは>

- ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)
- ・ $SCR = \frac{\text{年齢構成別レセプト数} \times 100}{\text{年齢階級別人口} \times \text{全国の年齢構成別レセプト出現率}}$
- (※年齢は、原則5歳刻みで計算)
- ・流出入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、小さければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

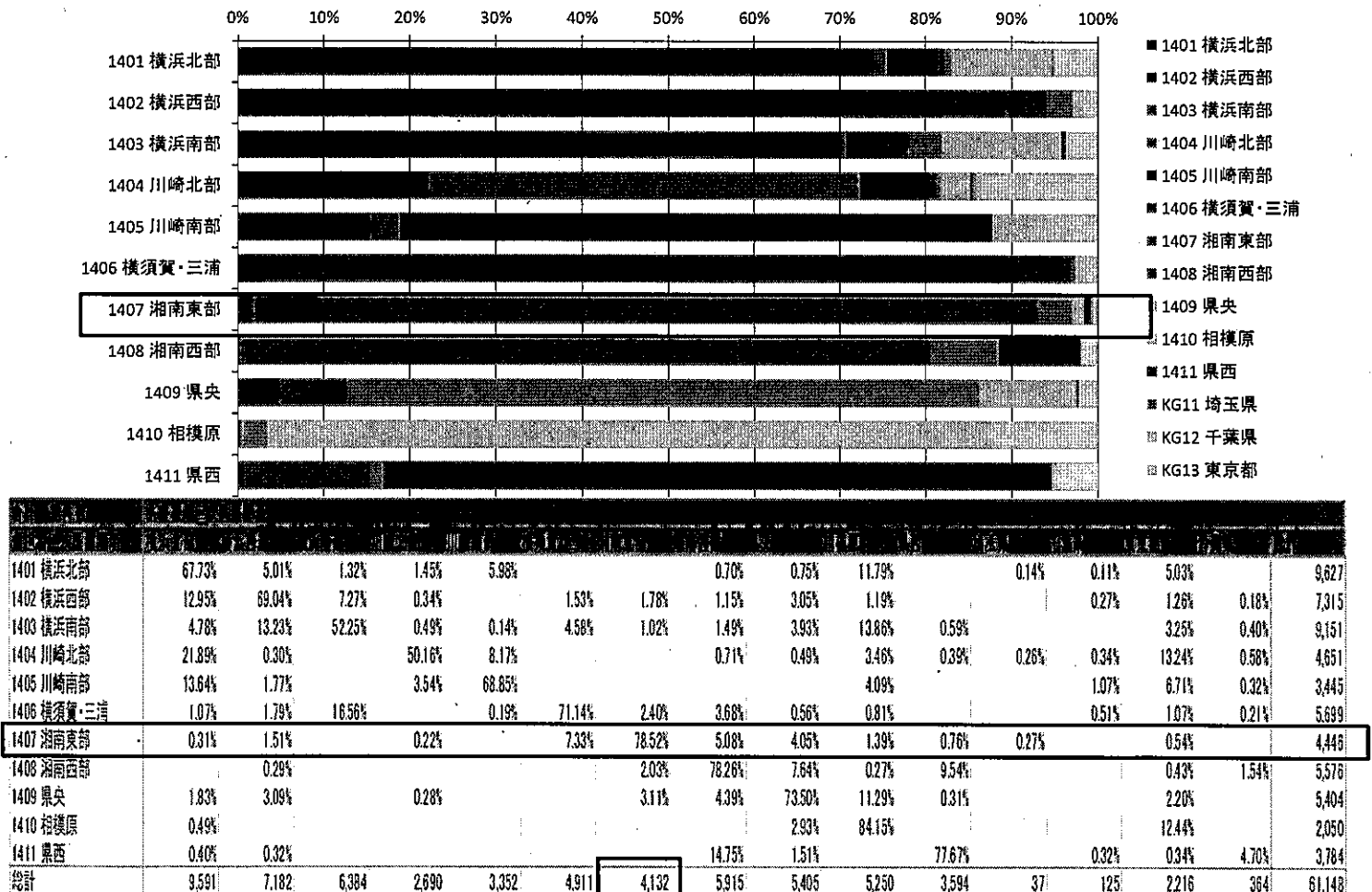
・全体的に全国平均を下回る。(平成26年度から同様の傾向)

# 脳卒中

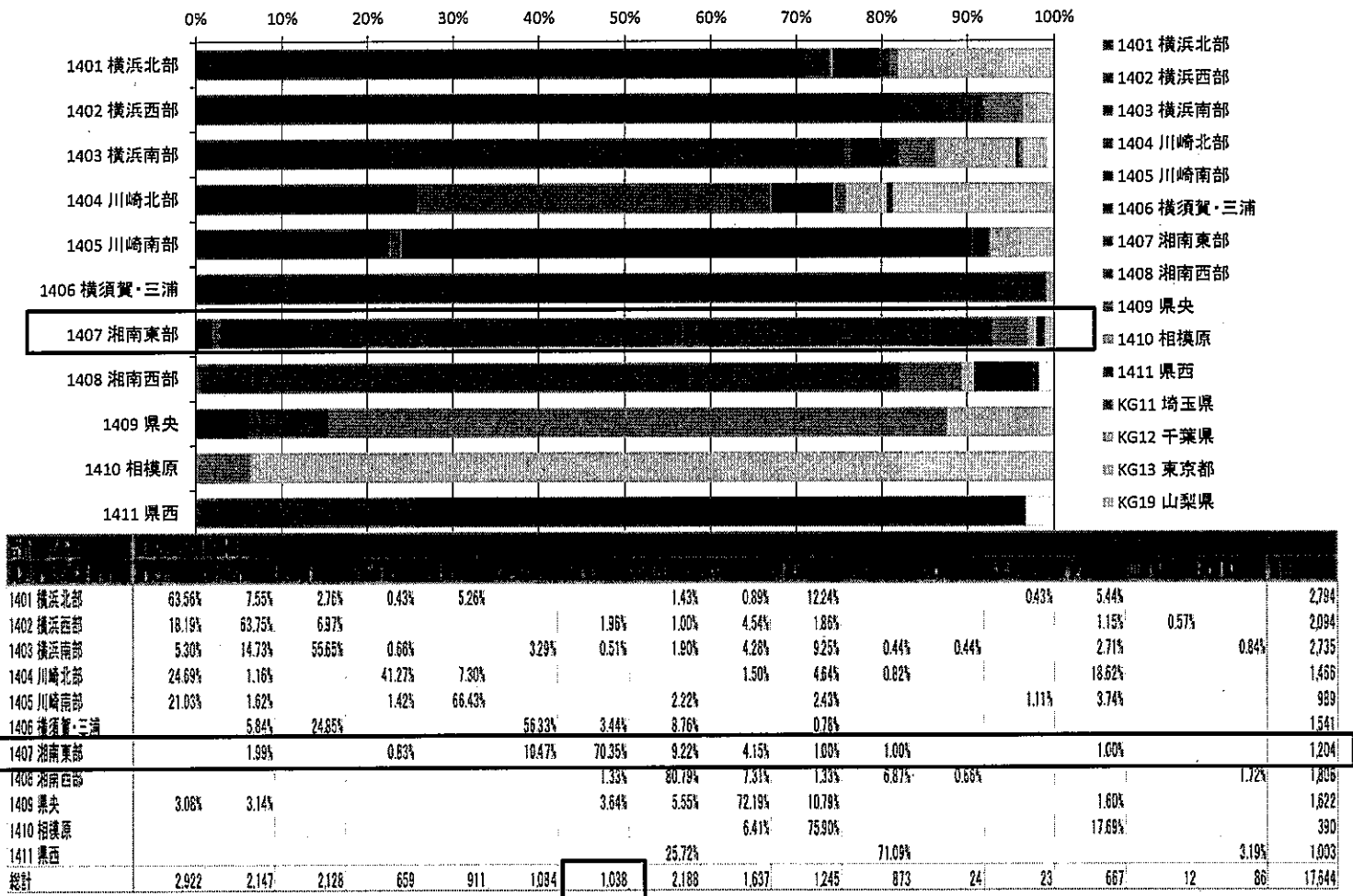
神奈川県におけるくも膜下出血の自己完結率(平成28年度NDBデータ:入院)



神奈川県における脳梗塞、一過性脳虚血発作患者の自己完結率(平成28年度NDBデータ:入院)

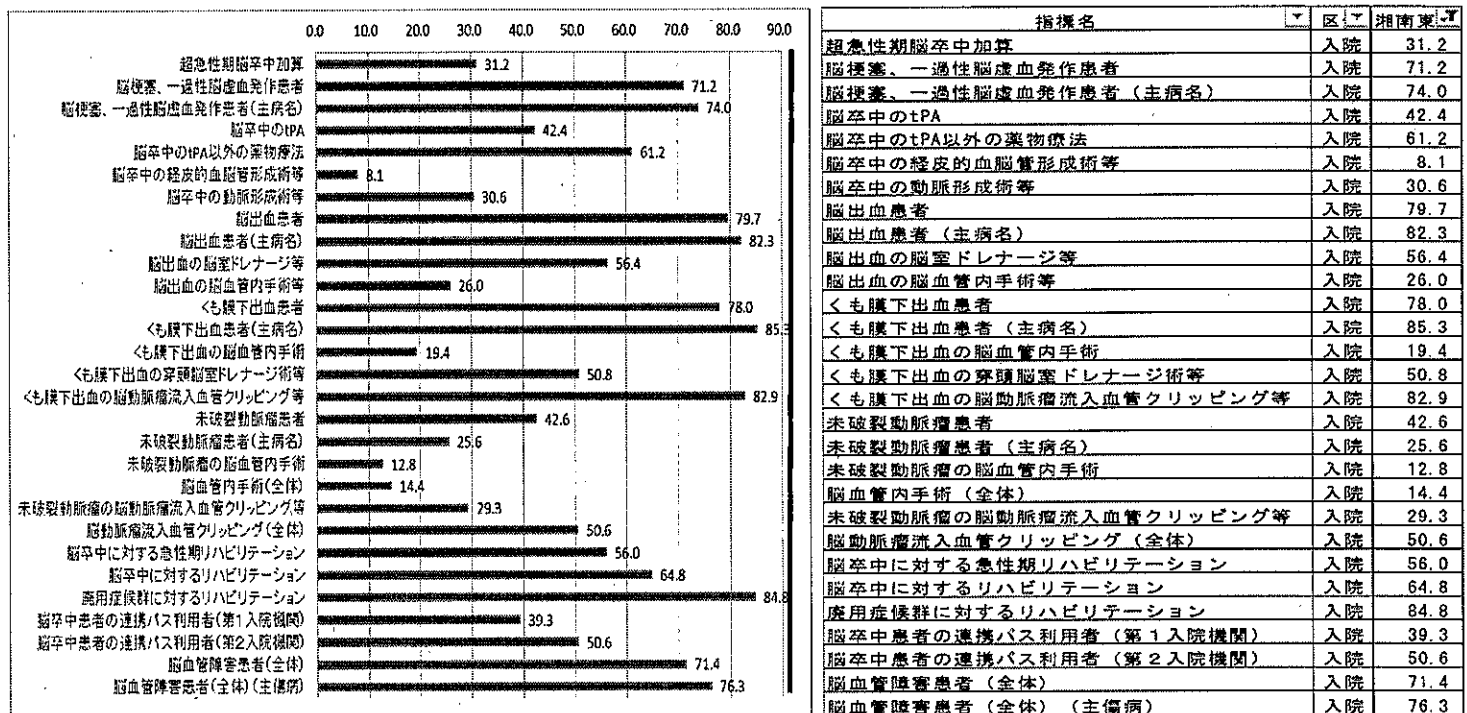


神奈川県における脳出血患者の自己完結率(平成28年度NDBデータ:入院)



35

湘南東部における脳卒中関連の医療的行為に関する  
年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成28年度NDBデータ)



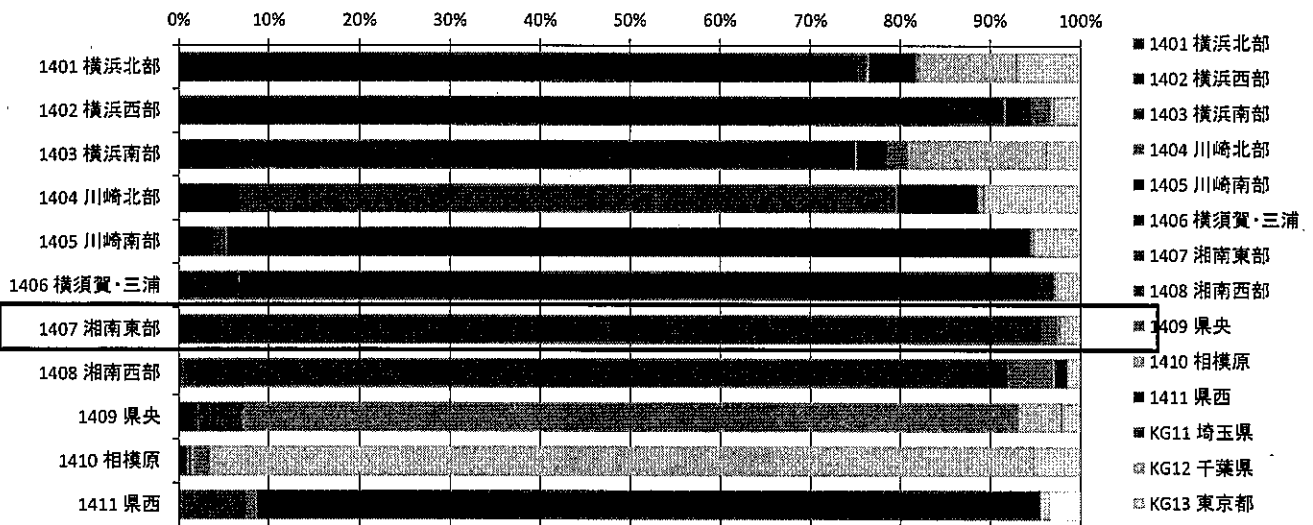
<SCRとは>  
 ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)  
 ・SCR=Σ年齢構成別レセプト数×100/Σ年齢階級別人口×全国の年齢構成別レセプト出現率  
 (※年齢は、原則5歳刻みで計算)  
 ・流入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、小さければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

・全体的に全国平均を下回る。特に手術関連の出現率が低い。(平成26年度から同様の傾向)

36

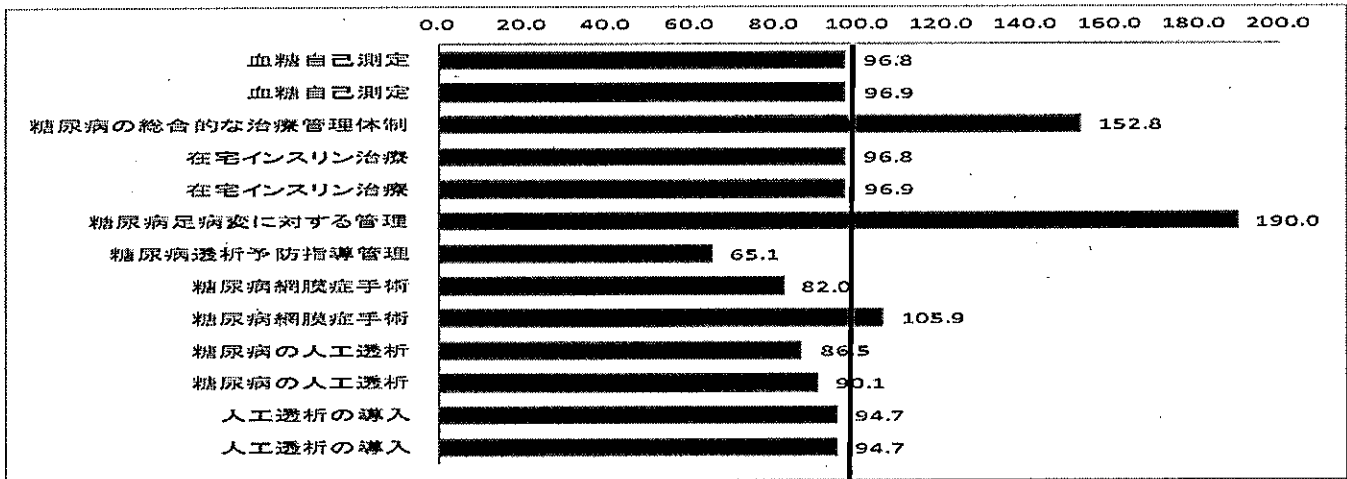
# 糖尿病

神奈川県における糖尿病患者の自己完結率  
(平成28年度NDBデータ:外来)



地域	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	患者数					
1401 横浜北部	69.01%	4.61%	1.67%	1.24%	5.13%	0.12%	0.11%	0.06%	0.33%	10.64%	0.02%	0.08%	0.11%	6,701	0.12%	0.05%	231,142
1402 横浜西部	3.31%	81.96%	6.26%	0.18%	0.46%	1.19%	1.15%	0.06%	2.18%	0.29%	0.03%	0.04%	0.05%	2,741	0.01%	0.06%	192,634
1403 横浜南部	1.19%	5.47%	68.33%	0.20%	0.29%	2.67%	0.30%	0.08%	2.31%	15.38%	0.04%	0.06%	0.10%	3,501	0.02%	0.06%	238,420
1404 川崎北部	6.42%	0.15%	0.21%	72.81%	9.01%	0.02%	0.09%	0.07%	0.22%	0.22%	0.03%	0.13%	0.06%	10,461	0.03%	0.06%	105,422
1405 川崎南部	3.16%	0.33%	0.39%	1.51%	89.10%	0.07%	0.11%		0.09%	0.05%	0.03%	0.05%	0.13%	4,941		0.03%	86,452
1406 横須賀・三浦	0.32%	0.66%	5.74%	0.06%	0.26%	87.82%	1.93%	0.16%	0.11%	0.05%	0.03%	0.05%	0.09%	2,571	0.01%	0.06%	155,619
1407 湘南東部	0.16%	0.84%	0.74%	0.05%	0.11%	2.86%	69.16%	1.77%	1.76%	0.22%	0.09%	0.01%	0.04%	2,091	0.10%	0.10%	122,412
1408 湘南西部	0.10%	0.16%	0.23%	0.05%	0.05%	0.12%	1.18%	90.04%	5.00%	0.19%	1.46%	0.03%	0.04%	1,231	0.02%	0.12%	118,276
1409 県央	0.62%	1.11%	0.36%	0.22%	0.12%	0.19%	1.80%	2.78%	85.96%	4.71%	0.08%	0.05%	0.01%	1,951	0.01%	0.03%	145,792
1410 相模原	0.66%	0.17%	0.09%	0.27%	0.16%		0.03%	0.14%	1.94%	91.28%	0.02%	0.05%		5,141		0.05%	43,368
1411 県西	0.16%	0.16%	0.23%	0.07%	0.02%	0.10%	0.03%	6.53%	1.06%	0.09%	86.88%			1,071	0.03%	3.32%	70,278
総計	160,622	186,145	190,239	82,594	109,772	149,821	119,746	118,035	145,968	109,199	63,325	841	1,044	58,707	458	3,280	1,519,215

神奈川県における糖尿病関連の医療的行為に関する  
年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成28年度NDBデータ)

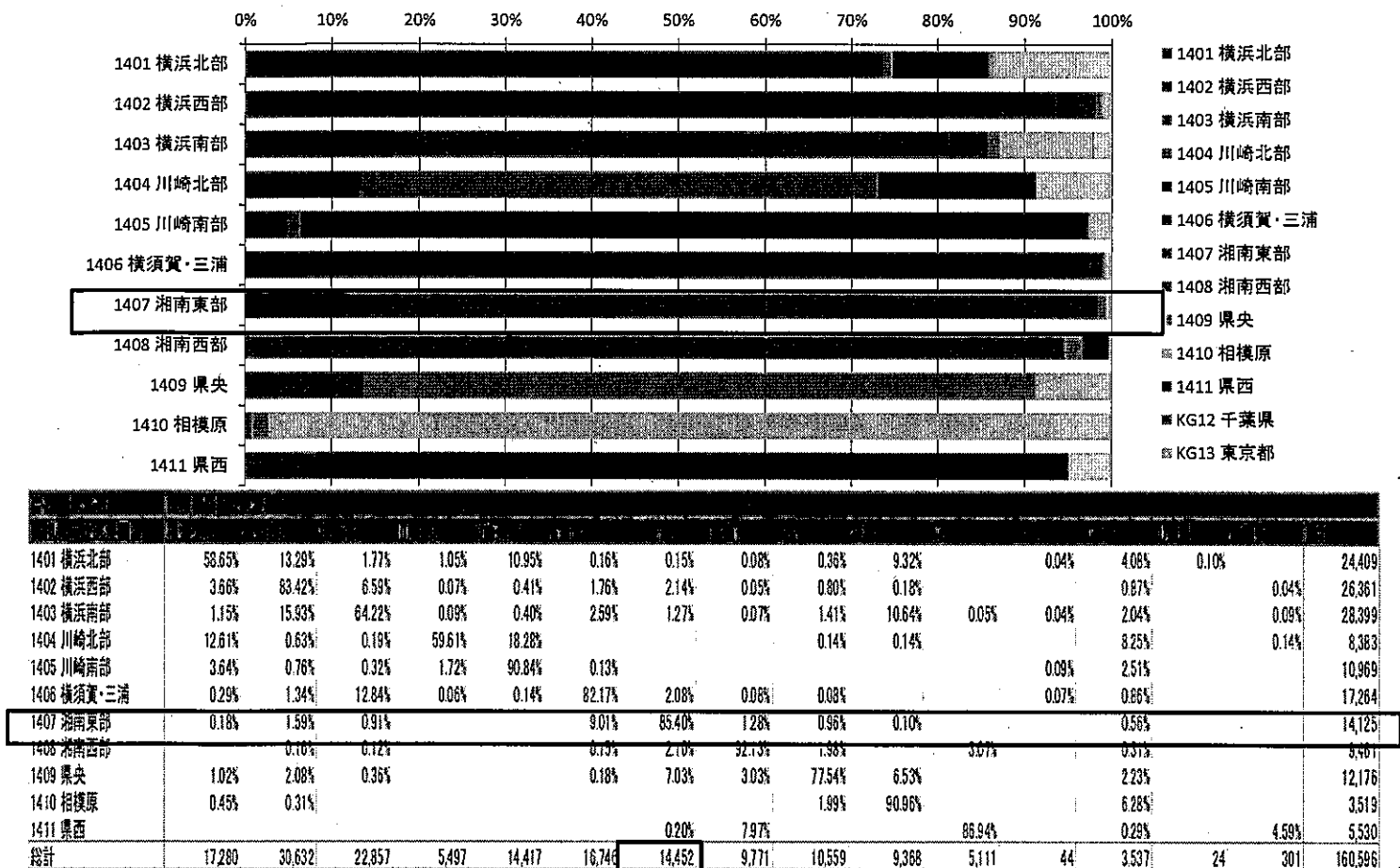


指標名	区分	神奈川県
血糖自己測定	入院	96.8
血糖自己測定	外来	96.9
糖尿病の総合的な治療管理体制	外来	152.8
在宅インスリン治療	入院	96.8
在宅インスリン治療	外来	96.9
糖尿病足病変に対する管理	外来	190.0
糖尿病透析予防指導管理	外来	65.1
糖尿病網膜症手術	入院	82.0
糖尿病網膜症手術	外来	105.9
糖尿病の人工透析	入院	86.5
糖尿病の人工透析	外来	90.1
人工透析の導入	入院	94.7
人工透析の導入	外来	94.7

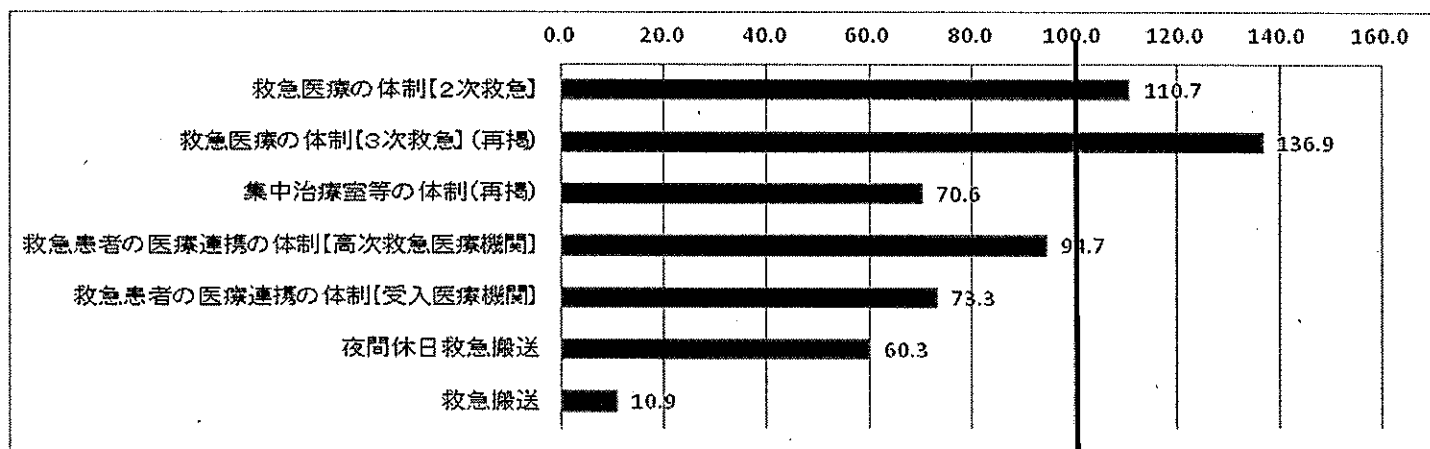
<SCRとは>  
 ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均値に対する比)  
 ・ $SCR = \frac{\text{年齢構成別レセプト数} \times 100}{\text{年齢階級別人口} \times \text{全国の年齢構成別レセプト出現率}}$   
 (※年齢は、原則5歳刻みで計算)  
 ・流入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、少なければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

救急

# 神奈川県における救急医療の自己完結率・二次救急 (平成28年度NDBデータ:入院)



湘南東部における救急関連の医療的行為に関する  
年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成28年度NDBデータ)

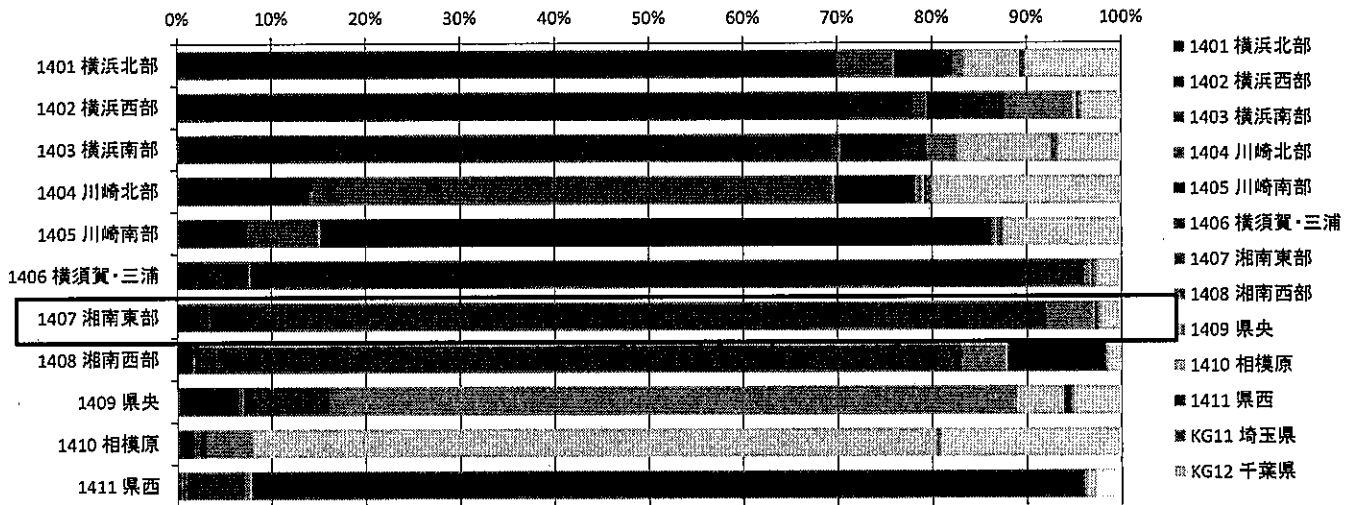


指標名	区分	湘南東部
救急医療の体制【2次救急】	入院	110.7
救急医療の体制【3次救急】(再掲)	入院	136.9
集中治療室等の体制(再掲)	入院	70.6
救急患者の医療連携の体制【高次救急医療機関】	入院	94.7
救急患者の医療連携の体制【受入医療機関】	入院	73.3
夜間休日救急搬送	入院	60.3
救急搬送	入院	10.9

<SCRとは>  
 ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)  
 ・SCR=年齢構成別レセプト数×100/年齢階級別人口×全国の年齢構成別レセプト出現率(※年齢は、原則5歳みで計算)  
 ・流入入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、小さければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

# 在宅医療等

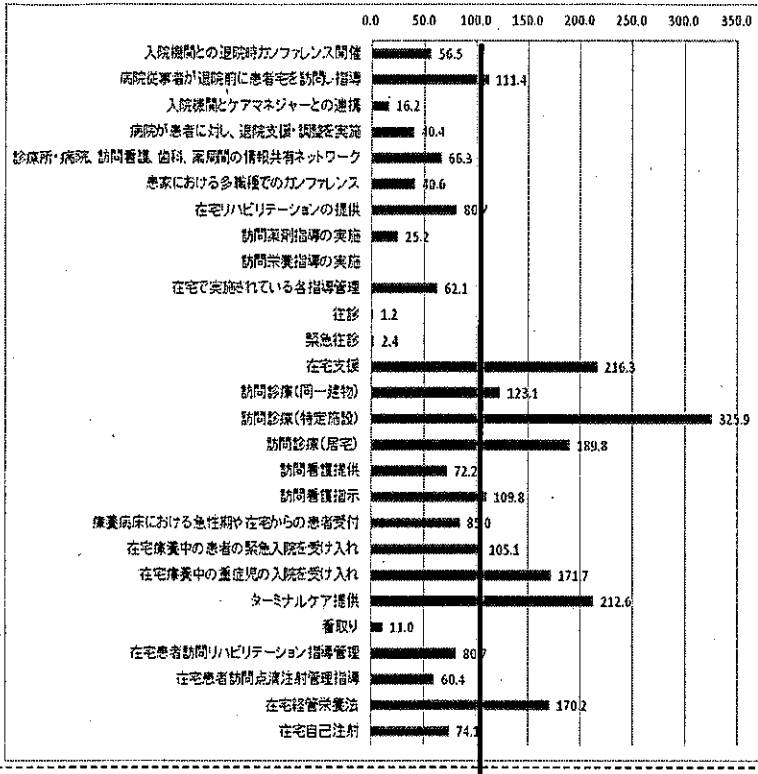
神奈川県における在宅医療の自己完結率  
(平成28年度NDBデータ:外来)



1401 横浜北部	63.76%	4.77%	1.41%	6.12%	5.13%	0.48%	0.30%	0.25%	1.19%	5.88%	0.15%	0.41%	0.44%	9.48%	0.04%	0.17%	498,712
1402 横浜西部	8.28%	62.80%	6.91%	1.53%	0.63%	2.74%	4.30%	0.52%	7.17%	0.45%	0.21%	0.39%	0.37%	3.55%	0.01%	0.17%	327,897
1403 横浜南部	5.76%	8.10%	55.54%	0.90%	0.62%	6.00%	2.08%	0.43%	3.31%	9.88%	0.23%	0.47%	0.51%	5.98%	0.04%	0.17%	429,574
1404 川崎北部	14.01%	0.18%	0.12%	55.41%	3.45%	0.02%	0.16%	0.14%	0.46%	0.28%	0.21%	0.54%	0.25%	19.60%	0.11%	0.05%	245,292
1405 川崎南部	6.72%	0.29%	0.34%	7.85%	70.23%	0.34%	0.37%	0.14%	0.35%	0.18%	0.15%	0.59%	0.51%	11.84%	0.03%	0.13%	204,375
1406 横須賀・三浦	0.62%	0.89%	60.1%	0.29%	0.77%	80.82%	6.22%	0.48%	0.60%	0.12%	0.18%	0.38%	0.44%	2.03%		0.15%	341,594
1407 湘南東部	0.56%	1.01%	1.77%	0.15%	0.20%	3.73%	79.83%	4.79%	4.97%	0.19%	0.36%	0.22%	0.23%	1.82%		0.17%	248,010
1408 湘南西部	0.84%	0.72%	0.16%	0.12%	0.21%	0.20%	2.60%	78.23%	4.60%	0.28%	10.46%	0.17%	0.09%	1.16%	0.02%	0.14%	181,438
1409 県央	2.38%	3.79%	0.35%	0.51%	0.39%	0.62%	3.12%	4.96%	72.60%	5.03%	0.72%	0.33%	0.18%	4.64%		0.18%	185,121
1410 相模原	1.59%	0.16%	0.03%	0.74%	0.10%	0.02%	0.14%	0.33%	4.89%	72.45%	0.43%	0.26%	0.26%	18.61%	0.02%	0.23%	58,803
1411 県西	0.30%	0.09%	0.07%	0.10%	0.21%	0.08%	0.27%	5.97%	0.66%	0.12%	88.25%	0.21%	0.09%	0.86%	0.01%	2.71%	109,091
総計	428,896	279,947	295,223	194,526	199,117	324,884	256,122	177,274	213,834	129,208	121,475	11,055	10,145	191,314	750	7,125	2,639,997



湘南東部における在宅関連の医療的行為に関する  
年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成28年度NDBデータ)



指標名	区分	湘南東部
入院機関との退院時カンファレンス開催	入院	56.5
病院従事者が退院前に患者宅を訪問し指導	入院	111.4
入院機関とケアマネジャーとの連携	入院	16.2
病院が患者に対し、退院支援・調整を実施	入院	40.4
診療所・病院、訪問看護、歯科、薬局間の情報共有ネットワーク	外来	66.3
患者における多職種でのカンファレンス	外来	40.6
在宅リハビリテーションの提供	外来	80.7
訪問薬剤指導の実施	外来	25.2
訪問栄養指導の実施	外来	62.1
在宅で実施されている各指導管理	入院	62.1
往診	入院	1.2
緊急往診	入院	2.4
在宅支援	外来	216.3
訪問診療(同一建物)	外来	123.1
訪問診療(特定施設)	外来	325.9
訪問診療(居宅)	外来	189.8
訪問看護提供	外来	72.2
訪問看護指示	入院	109.8
療養病床における急性期や在宅からの患者受付	入院	85.0
在宅療養中の患者の緊急入院を受け入れ	入院	105.1
在宅療養中の重症児の入院を受け入れ	入院	171.7
ターミナルケア提供	外来	212.6
看取り	入院	11.0
在宅患者訪問リハビリテーション指導管理	外来	80.7
在宅患者訪問点滴注射管理指導	外来	60.4
在宅経管栄養法	入院	170.2
在宅自己注射	入院	74.1

<SCRとは>

- ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)
- ・ $SCR = \frac{\sum \text{年齢構成別レセプト数} \times 100}{\sum \text{年齢階級別人口} \times \text{全国の年齢構成別レセプト出現率}}$ (※年齢は、原則5歳刻みで計算)
- ・流出がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、小さければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

・全体として、訪問診療などの在宅医療に係る医療行為に係るレセプト出現率は高いが、ケアマネジャーとの連携や退院支援に係る指標の出現率に低いものがある。(平成26年度から同様の傾向)

